



今週のPOINT

国内株式市場

衆院選の情勢睨みながらも、本格化する決算発表を受けた個別物色の動きが中心に

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

ミライト・ワン【プライム 1417】ほか

テーマ別分析

円高メリット銘柄を再点検

話題のレポート

改めて考えるTOPIXルール変更の影響

スクリーニング分析

2月決算企業の配当権利取りの動きを先取りへ

現在の市場の関心は10-12月期の決算発表に集中

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3	
			新興市場	4	
		米国株式市場		5	
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6	
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6	
2	マーケットを読む	今週のポイント		7	
		日経平均株価		8	
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	ミライト・ワン 〈1417〉 プライム	9	
			J.フロント リテイリング 〈3086〉 プライム	10	
			ダイワボウHD 〈3107〉 プライム	11	
			クリエイトSD HD 〈3148〉 プライム	12	
			東亜合成 〈4045〉 プライム	13	
			eWeLL 〈5038〉 グロース	14	
			日機装 〈6376〉 プライム	15	
			INTLOOP 〈9556〉 グロース	16	
			読者の気になる銘柄	アドバンテスト 〈6857〉 プライム	17
				ファナック 〈6954〉 プライム	17
			テクニカル妙味銘柄	セブン&アイ HD 〈3382〉 プライム	18
				阪急阪神ホールディングス 〈9042〉 プライム	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19	
		スクリーニング分析		20	
		先週の話題レポート		21	
		信用需給動向		22	
5	連載コラム			23	

衆院選の情勢睨みながらも、本格化する決算発表を受けた個別物色の動きが中心に

■為替相場の円高進行を受けて週初に売り優勢の展開へ

先週の日経平均は前週末比 524.02 円安 (-1.0%) の 53322.85 円で取引を終了した。前週末の日銀金融政策決定会合後に為替市場でドル高円安反転の動きが強まり、週初は大幅下落でのスタートとなった。22 日に 158 円台半ばだったドル円相場は、27 日には 152 円台半ばまで下落した。ニューヨーク連邦準備銀行による「レートチェック」観測がドル円相場反転のきっかけとなり、日米協調による為替介入への思惑につながったもよう。

日経平均はその後下げ渋る展開となったものの、週末にかけて戻りは限定的にとどまっている。国内外で主力企業の決算発表が本格化していることで、個別物色の動きが中心となる形にも。蘭 ASML の決算が半導体関連の買い材料につながる場面があった一方、米マイクロソフトの急落などは全体相場の重しとなった。なお、米連邦公開市場委員会 (FOMC) では市場の想定通りに政策金利の据え置きを決定、相場への影響は限られた。

1 月第 3 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を 2128 億円買い越した一方、先物は 6571 億円売り越し、合計 4443 億円の売り越しとなった。3 週ぶりに売り越しに転じている。個人投資家は現物を 4462 億円買い越すなど合計で 4506 億円を買い越し。ほか、投信が計 1741 億円の買い越し、信託は計 2232 億円の売り越しとなった。

■来週は自民党の大勝を織り込む展開になると想定

先週末の米国株式市場は下落。ダウ平均は前日比 179.09 ドル安の 48892.47 ドル、ナスダックは同 223.30 ポイント安の 23461.82 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値比 60 円高の 53450 円。トランプ米大統領が次期連邦準備制度理事会 (FRB) 議長に元 FRB 理事のケビン・ウォーシュ氏を指名すると発表。候補者の中で最もタカ派的とされており、今後の利下げペースが市場期待よりも鈍化するとの見方が強まった。

週末に衆議院議員選挙の投開票が行われることで、今週は選挙結果を睨んだ相場展開となっていく公算。情勢調査がいくつか伝えられているが、自民党が単独過半数をうかがう勢いとみているところが多いようだ。先週後半にかけての株式市場はこうした報道に対する反応が乏しかったものの、与党の議席数減少による高市首相の退陣といったテールリスクは大きく後退とみられ、今週は株式市場への支援材料につながっていく可能性が高いだろう。短期的には決算発表次第の面もあるが、政策期待銘柄にとっては総じて追い風の状況と考える。

米 FOMC は市場の想定通りに政策金利の据え置きを決定したが、声明文では、経済活動の拡大が前回の「緩やか」から「堅調」に、失業率が前回の「小幅に上昇」から「安定化の兆候」

にそれぞれ判断が上方修正されている。また、景気見通しでは雇用に対する下方リスクに関する記述が削除されるなど、ややタカ派とも受け止められる状況だろう。加えて、トランプ大統領が次期 FRB 議長に指名したウォーシュ氏は相対的にタカ派と見られており、こちらからも早期利下げ期待は低下していく方向と考えられる。なお、トランプ大統領は政府の予算案を巡って、与党・共和党と野党・民主党が合意に達したと明らかにしており、政府機関閉鎖に対する懸念は大きく後退している。

■国内では主力企業の決算発表がより佳境に

今週は国内主力企業の決算発表がより佳境を迎える。中でも、三菱重工業<7011>は防衛関連分野の受注動向などが注目され、ソニーグループ<6758>、任天堂<7974>は足下のメモリー価格高騰の影響が確認されることになる。メモリー価格上昇の影響は、トヨタ自動車<7203>などの自動車株にも響いてこよう。東京エレクトロン<8035>など半導体企業の決算は、海外関連株や今週のアドバンテック<6857>の決算内容などから、ややハードルは高まっていると考えられる。全般的に、ここまでの決算からは増配や自社株買いの発表が依然として多くなっており、今後の主要企業の決算発表でも期待材料につながっていく見通し。

米国企業の決算では、マイクロソフトとメタが好対照の動きとなるなど、決算評価はまちまちの印象だが、今週もアマゾンやアルファベットなどハイパースケーラーの決算発表が予定されており、設備投資動向などに関心が高まりそうだ。また、好決算が目立つ半導体企業では、今週も AMD や英アームなどの決算が支援材料となる余地がある。なお、先週大きく崩れる場面が見られた金属価格だが、FRB 人事を受けてドルの信認低下懸念はやや後退、調整が続く可能性もあろう。

■週末には衆議院議員選挙の投開票が行われる

今週、国内では、2 日に 1 月 22-23 日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」、3 日に 1 月マネタリーベース、6 日に 12 月家計調査、12 月景気動向指数などが発表予定。なお、8 日には衆議院議員選挙投開票が行われる。

海外では、2 日に中・1 月製造業 PMI (RatingDog)、米・1 月 ISM 製造業景気指数、3 日に米・1 月自動車販売台数、12 月 JOLTS 求人件数、4 日に中・1 月サービス業 PMI (RatingDog)、欧・1 月消費者物価指数、米・1 月 ADP 雇用統計、1 月 ISM 非製造業景気指数、5 日に英・金融政策決定委員会、欧・12 月小売売上高、米・新規失業保険申請件数、6 日に独・12 月鉱工業生産、米・1 月雇用統計、2 月ミシガン大学消費者信頼感指数、12 月消費者信用残高などが発表予定。なお、4-5 日に欧州では ECB 理事会が開催され、5 日にはラガルド総裁の会見が予定されている。

主要企業の決算を受けた大型株主導の相場展開

■衆院選投開票に向けて政策期待が高まりやすい

今週の新興市場は、日米ともに主要企業の決算発表が本格化する中、引き続き大型株主導の相場展開になりやすいだろう。今週は、6日に東京エレクトロン<8035>の決算発表が予定されており、半導体やAI関連に関心が集まる可能性はある。ただ、先週もアストロスケールホールディングス<186A>などの宇宙ビジネス関連が物色されるなど、2月8日の衆院選投開票に向けて、政策期待がより高まりやすいと考えられる。現在の情勢報道からは自民・維新による連立与党の過半数獲得が確実視されており、高市トレード関連銘柄に対して物色意欲が強まりそうだ。

■レアアース関連などに注目

レアアース関連の一角としてリネットジャパングループ<3556>や中村超硬<6166>、セキュリティ関連としてFFRIセキュリティ<3692>やグローバルセキュリティエキスパート<4417>、核融合関連としてマイクロ波化学<9227>などもチェックしておきたい。

今週もIPOは予定されていない。なお、2月13日に上場するTOボックス<500A>の仮条件は、3810円-3910円に決まった。

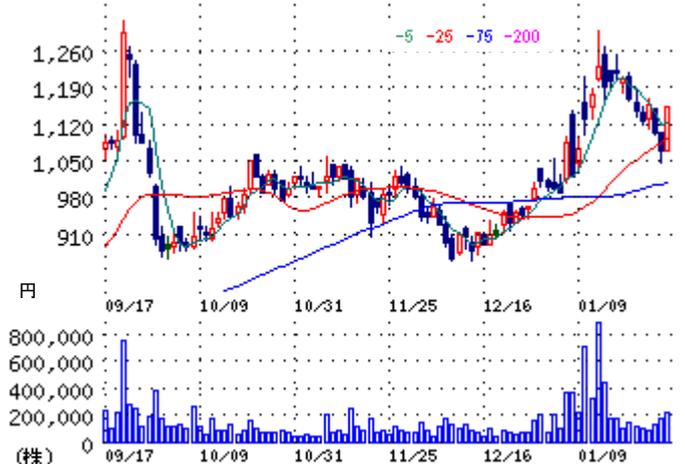
東証グロース市場 250 指数



アストロスケールホールディングス<186A>



リネットジャパングループ<3556>



早期利下げ期待後退の中、大手ハイテク株の決算発表は続く/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株はまちまち。週間ベースの騰落率は、NY ダウが-0.42%、ナスダックが-0.17%、S&P500が+0.34%。ハイテク株を中心とした決算期待が全体相場の下支えとなった。連邦公開市場委員会（FOMC）では市場の想定通りに政策金利の据え置きが決定され、相場への影響は限られることとなった。NY ダウは一部構成銘柄の下落の影響が響く場面もあった一方、ナスダックは堅調推移が続いたものの週末にかけ下落。トランプ大統領が次期連邦準備制度理事会（FRB）議長に元FRB理事のケビン・ウォーシュ氏を指名すると発表。候補者の中で最もタカ派的とされており、今後の利下げペースが市場期待よりも鈍化するとの見方が強まる形になった。

個別では、メタ・プラットフォームズが大幅高。第4四半期決算を発表、堅調な広告事業などが寄与して1株利益などが市場予想を上回った。また、26年第1四半期売上高見通しが市場予想を上回り、巨額設備投資への懸念も後退した。AIデータセンターを手掛けるコアウィーブは一時大幅上昇、エヌビディアからの追加出資でAIファクトリー建設を加速するとの発表が好感された。エヌビディアは、AI向けの半導体「H200」を中国当局が購入を承認したと伝わり上昇した。GM、シーゲイト、AT&T、キャタピラー、IBMなどは予想を上回る決算が好感される動きに。サンディスクも週後半にかけて大幅高。第2四半期決算が市場予想を大きく上回ったほか、AIデータセンターのメモリチップ需要が強く、今期の売上高も好調な見通しを示した。アップル（AAPL）は、市場の期待を上回る決算となったものの、メモリ価格の高騰などコストや供給面での一部懸念が指摘され上値はやや限定的だった。

一方、マイクロソフトが大幅安。第2四半期は売上高、1株利益ともに市場予想を上回ったが、設備投資額が予想以上だったことに加え、クラウド事業の成長鈍化が嫌気された。ボーイングは、10-12月期決算が14四半期ぶりに黒字転換となったが買いは続かず。画像検索・共有プラットフォームを運営するピンタレストは、従業員の最大15%を削減すると発表し大幅安。民間版高齢者医療保険への来年の政府支払いを巡って政府から前年比微増の案提示を受けたことで、ユナイテッド・ヘルスなど医療保険株が大きく下落。次期FRB議長人事を巡り、想定ほど利下げが進まないとの見方が浮上し金価格が下落し、ニューモントが週末にかけ大幅安。これまで急ピッチで上昇を続けていた銀価格も一時3割を超える下落率と急落し、鉱山会社のヘクラ・マイニング、コー・マイニング、パン・アメリカン・シルバーなども大きく売られた。

■今週の見通し

FOMCは市場の想定通りに政策金利の据え置きを決定したが、声明文では、経済活動の拡大が前回の「緩やか」から「堅調」に、失業率が前回の「小幅に上昇」から「安定化の兆候」に、それぞれ判断が上方修正されている。また、景気見通しでは雇用に対する下方リスクに関する記述が削除されるなど、ややタカ派とも受け止められる状況。加えて、週末にはトランプ大統領が次期FRB議長候補にウォーシュ氏を指名、候補者の中では相対的にタカ派と見られている。今後、早期利下げ期待は後退していくことになりそうだ。一方、今回のFRB人事を受けて、ドルの信認低下に歯止めがかかる可能性のある点には注目したい。なお、トランプ大統領は政府の予算案を巡って、与党・共和党と野党・民主党が合意に達したと明らかにしており、政府機関閉鎖に対する懸念は大きく後退している。

先週の決算発表では、マイクロソフトとメタの株価が好対照の動きとなるなど、評価はまちまちの印象となっている。AI関連に関しては、ひとまずマイクロソフトの下げ止まりを確認したいところ。今週もアマゾンやアルファベットなどハイパースケーラーの決算発表が予定されている。設備投資動向などに 관심이高まりそうだが、個別の観点では、足下の売上、利益動向などを注視したい。また、台湾TSMCや蘭ASMLのほか、TIやサンディスクなど半導体企業の好決算が目立っている。今週もAMD、テラダイン、クアルコム、英アームなどの決算が支援材料とされる可能性があるだろう。なお、先週大きく崩れる場面が見られた金属価格だが、ドルの信認低下に歯止めがかかるのであれば、目先調整が続く公算も大きい。

経済指標は、2日に1月ISM製造業景気指数、3日に米・1月自動車販売台数、12月JOLTS求人件数、4日に1月ADP雇用統計、1月ISM非製造業景気指数、5日に新規失業保険申請件数、6日に1月雇用統計、2月ミシガン大学消費者信頼感指数、12月消費者信用残高などが発表予定。

決算発表は、2日にウォルト・ディズニー、バランティア・テクノロジーズ、テラダイン、3日にAMD、アムジェン、メルク、ファイザー、ペイパル、ペプシコ、エレクトロニック・アーツ、4日にボストン・サイエンティフィック、CMEグループ、アルファベット、イーライリリー、ノバルティス、クアルコム。ウーバー・テクノロジーズ、5日アマゾン、ベリサイン、ロックウェル・オートメーション、エステイローダー、6日にバイオジェン、フィリップ・モリスなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

152.00 円 ~ 157.00 円

今週の米ドル・円は下げ渋りか。日米の通貨当局が過度な円安を問題視しているとの見方は変わっていないが、1ドル=150-155円の水準で為替介入が実施される可能性は低いとみられる。相対的にタカ派と見られているケビン・ウォーシュ元連邦準備制度理事会（FRB）理事が次期FRB議長に就任する方向であることも、ドル・円相場への支援材料となる。また、2月8日投開票の日本の衆院選では与党（自民党）の優勢が報じられており、総選挙での勝利で高市政権の基盤が強まれば、多くの分野で政府支出が増大し、財政拡張への懸念から主要通貨に対する円売りが強まるケースも予想される。

【米・1月ISM製造業景況指数】（2月2日発表予定）

2日発表の米1月ISM製造業景況指数は、12月実績の47.9から小幅改善の見通し。ただ、節目の50を下回る状態が続き、強いドル買い要因にはなりにくい。

【米・1月雇用統計】（2月6日発表予定）

6日発表の米1月雇用統計で失業率は4.4%、非農業部門雇用者数は前月比+7.0万人程度の見通し。非農業部門雇用者数が市場予想を下回った場合、長期金利は伸び悩み、ドル売り材料となり得る。

債券市場

債券先物予想レンジ

131.10 円 ~ 132.00 円

長期国債利回り予想レンジ

2.220 % ~ 2.320 %

■先週の動き

先週（1月26日-30日）の債券市場で長期債利回りは伸び悩み、財政悪化に対する警戒感が消えていないものの、為替相場が円高方向に振れたことから、長期債と超長期債の利回り上昇は一服した。長期債利回りの上昇を待っていた一部の国内投資家の買いが入ったことも長期債利回りの上昇を抑制したとみられる。1月27-28日開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）の会合では政策金利の据え置きが決定されたが、将来的な利下げの可能性は残されていることも国内債の利回り上昇を抑える一因となったようだ。ただ、「トランプ大統領が、米連邦準備制度理事会（FRB）次期議長にウォーシュ元理事を指名する方向で準備を進めている」との一部報道を受けて為替相場が円安方向に振れたことから、長期債利回りは下げ止まった。

10年債利回りは上昇一服。2.213%近辺で26日の取引を開始し、27日に2.294%近辺まで上昇したが、米国金利の先安観が消えていないこと、日米通貨当局は過度な円安を懸念しているとの見方が広がったことから、為替相場は円高方向に振れ、この影響で長期債利回りの上昇は一服した。週後半にかけて国内勢から長期債の買いが入ったことも意識され、10年債利回りは2.252%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物3月限は下げ渋り。131円72銭で26日の取引を開始し、27日にかけて131円19銭まで下落したが、国内投資家から長期債と超長期債の買いが入ったことや為替相場が円高方向に振れたことなどを意識して、債券先物を買戻す動きが広がった。28日に

行われた40年国債入札がまずまず順調な結果となったことから、同日の夜間取引で131円77銭まで反発した。その後は伸び悩んだが、米国金利の先安観が消えていないことや月末のポジション調整に絡んだ買いが観測されたことから、30日の取引で131円75銭まで反発し、131円61銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（2月2日-6日）の債券市場では、長期金利はやや上昇する可能性がある。衆院選の投票日が目前に迫り、財政拡張への懸念が消えていないため、国内勢からの買いは手控えられそうだ。2月3日に行われる10年国債入札と5日に行われる30年国債入札では国内勢から一定規模の需要が想定されるものの、総選挙前であることから、好調な結果は期待できないとの声が聞かれている。8日投開票の衆院選で与党側が勝利する可能性は高いとみられている。総選挙での勝利で高市政権の基盤が強まれば、多くの分野で政府支出が増大すると予想され、財政拡張懸念が再度高まりそうだ。また、日米通貨当局は円安進行を問題視しているとみられ、円安は正のために日本銀行が3月または4月の会合で追加利上げについて議論する可能性があることも長期債と超長期債の利回り水準の低下を阻む一因となる。

債券先物3月限は伸び悩み可能性がある。総選挙で敗北しない限り、高市政権は積極財政路線を修正しないとみられており、財政拡張策を警戒して債券先物の上値はやや重くなりそうだ。日本銀行による早期追加利上げ観測が広がった場合、債券先物は131円近辺まで下落する可能性がある。

主力企業の決算発表が一段と本格化、政策期待の高まりは支援材料にも

先週の日経平均は続落。NY 連銀による「レートチェック」観測がきっかけとなって為替市場ではドル安円高反転の動きが強まり、週初の株安につながった格好。その後は下げ渋ったが、本格化する決算発表を受けた個別物色の動きが優勢となり、全体相場の方向感には定めにくかった。FOMC では市場の想定通りに政策金利の据え置きが決定され、相場への影響は限定的だった。業種別では、原油や金属価格の上昇を手掛かりに、非鉄金属や石油セクターが上昇したが、週末は金相場下落で非鉄株の一角は伸び悩み。米コーニング株高が大手電線株の買い材料とされる場面もあった。

個別では、10-12 月期の決算発表が主な手掛かり材料とされた。中でも、アドバンテストは決算発表を受けて一時急伸、実績値・通期見通しともに市場予想を上回るポジティブサプライズにつながった。四国化成、日本高純度、カシオ、KOA、マキタ、富士通、日立などにも決算評価の動きが先行した。半面、野村総研、インソース、コーエーテコモ、日東電工、信越化学、航空電子、JCR ファーマ、アンリツ、きんでん、トクヤマなどは決算後に株価下落となった。伊藤園は業績下方修正が嫌気される。ほか、キオクシアは米サンディスクの決算発表後の株価上昇が刺激となる。IDOM は株主優待制度の導入が買い材料視される。セグエグループは公募増資実施による希薄化が嫌気された。日東紡やソソースネクストなどには一部で投資判断格下げの動きが観測される。

今週は国内企業の決算発表が一段と本格化する。国内では、2 日にみずほ FG、村田製、JR 東日本、TDK、京セラ、3 日に三井物、任天堂、三菱電、デンソー、住友電工、イビデン、4 日に三菱 UFJ、三菱重、パナソニック、アステラス、日本郵船、LINE ヤフー、5 日にソニーG、三菱商、NTT、ルネサス、日本製鉄、花王、6 日にトヨタ、東京エレクトロ、伊藤忠、三井不、大成建などが発表予定。中では、三菱電機や三菱重工などの決算における防衛事業の受注動向などが注目されるほか、メモリー価格高騰の影響が任天堂やソニーG の決算にどのような影響を与えているかも注視。トヨタは為替動向も同時に注視すべきだろうが、自動車関連株への影響度と言う意味で注目される。ここまで半導体株の好決算が続いているため、東京エレクトロはややハードルが高まっていそう。海外企業ではアルファベットやアマゾンなど大手ハイテク株が決算発表予定、それらの設備投資動向次第で、国内 AI 関連株の行方も左右しそうだ。

週末に衆議院議員選挙の投開票が行われる。自民党優勢の情勢調査も伝わっていることで、政策期待は今週高まる方向にはなりそう。米国ではトランプ大統領の次期 FRB 議長指名を受けて、早期利下げ期待は後退する方向になっているが、ドルの信認低下に歯止めがかかる公算はあろう。これは一段の円高抑制要因につながるため、国内株式市場にとっては支援材料ともなり得る。一方、ドルの信認回復は金相場下落材料となるため、非鉄金属株の一角には調整が継続する余地もあろう。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	上位セクター	騰落率 (%)
3103	ユニチカ	629.0	61.28	3665	エニグモ	403.0	-22.50	鉱業	6.31
4099	四国化成ホールディングス	4,295.0	37.44	4307	野村総合研究所	4,701.0	-20.73	非鉄金属	3.43
6787	メイコー	12,710.0	23.64	4082	第一稀元素化学工業	2,330.0	-19.79	石油・石炭製品	2.57
285A	キオクシアホールディングス	21,360.0	23.22	2737	トーメンデバイス	11,740.0	-19.64	水産・農林業	2.25
4973	日本高純度化学	4,905.0	18.91	3968	セグエグループ	512.0	-17.95	海運業	1.41
4229	群衆化学工業	4,890.0	17.83	3659	ネクソン	3,683.0	-16.69	銀行業	-0.28
1515	日鉄鉱業	3,630.0	14.87	6590	芝浦メカトロニクス	23,420.0	-15.97	不動産業	-0.56
6952	カンオ計算機	1,508.0	14.20	5929	三和ホールディングス	3,500.0	-15.58	下位セクター	騰落率 (%)
4886	あすか製薬ホールディングス	2,498.0	13.24	9501	東京電力ホールディングス	580.9	-15.57	金属製品	-4.75
4385	メルカリ	3,428.0	12.76	9229	サンウェルズ	335.0	-14.32	サービス業	-3.90
4461	第一工業製薬	10,250.0	12.64	4362	日本精化	2,622.0	-14.17	鉄鋼	-3.60
9697	カブコン	3,936.0	11.12	3836	アパントグループ	1,637.0	-13.48	その他製品	-3.45
7599	IDOM	1,522.0	11.09	6588	東芝テック	2,596.0	-13.29	ガラス・土石製品	-3.25
5801	古河電気工業	13,530.0	10.86	6526	ソシオネクスト	2,061.5	-13.16	建設業	-3.25
5713	住友金属鉱山	9,360.0	10.27	3110	日東紡績	14,830.0	-13.12	化学工業	-3.18

弱もみ合いか、25日線超え銘柄が大幅減少

■買い手優勢の度合いは薄れる方向

先週（1月26-30日）の日経平均は2週連続で下落した。1週間の下げ幅は524.02円（前週89.30円）だった。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は1月第3週（1月19日～1月23日）、売り越しに転じ（4443億円、前週は9046億円買い越し）、現物は買い越しを継続した（2128億円、前週は7505億円買い越し）。

先週の日経平均は動意に乏しく、先々週のレンジ内を往來した。2週連続で上値が切り下がる一方、右肩上がりで推移する25日移動平均線を下回る場面はなく、一定の押し目買い需要を確認する形にもなった。

今週は弱もみ合いが予想される。25日移動平均線との上方乖離率は、日経平均では1月14日高値の7.15%を直近の最大値として先週末安値で0.90%まで縮小。13週線の上昇角度が縮小してきたこともあり、短中期的な買い手優勢の度合いは薄れる方向にある模様だ。TOPIXは28-30日の3日連続で25日線割れまで下ヒゲを出しており、日経平均も一旦25日線割れまで押される場面が想定されよう。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では、+2σを上放れた14日を直近ピークとするスピード調整が続き、先週末終値は中心線と+1σと間で買い手のやや優勢とされる位置にある。1σの値幅は拡大が続いてきたが、先週末は1366.13円（先々週末1714.06円）と縮小に転じ、+2σから-2σまでの各線が中心線に接近していく「5本線発散」が始まって相場局面の変化を示唆している。

先週末終値が25日線を上回る銘柄は、プライム全銘柄で46%（先々週末23日は79%）、日経平均採用225銘柄で115銘柄（同164銘柄）と大幅に減少。短中期投資家の含み損益悪化と相場全体でのリスク負担能力減退が警戒されよう。

上値では、1月23日高値54050.84円が引き続き弱い抵抗線として意識され、その上でも14日ザラ場の史上最高値54487.32円奪回までは上値が重くなりそうだ。下値では、25日線（先週末52449.99円）を下回っても、大型マド下端の9日高値（51986.91円）割れを回避できれば短期調整の範囲内と位置付けられよう。9日高値の下を走る13週線（同51115.69円）割れとなれば調整長期化リスクに留意が必要となりそうだ。

一目均衡表（日経平均）



ミライト・ワン〈1417〉プライム

通信インフラ構築が主力、AI データセンター需要が拡大

■NTT事業が売上高の32%

通信インフラ構築が主力。NTT 事業が売上高の 32% (25 年 3 月期) を占める。グリーンエネルギー関連事業やシステムインテグレーションサービス提供なども行う。ここに来て注目度が高まっているのが「コンテナ型 AI データセンター (DC)」。物流用コンテナにサーバーなどを収容するもので、短期間での構築が可能なことから AI 関連企業で需要が高まっており、日本経済新聞によると、国内主要 6 社で 25 年度に前年度比 3.5 倍の DC を建設する計画。主要 6 社の一角を占める同社では、DC 事業の受注高が 25 年 3 月期に 460 億円と計画の 390 億円を大きく上回り、26 年 3 月期に 500 億円、27 年 3 月期に 650 億円を見込んでいる。

■上期営業利益は67.8%増

26 年 3 月期上期売上高は 2588.36 億円 (前年同期比 3.6% 増)、営業利益は 78.51 億円 (同 67.8% 増)。DX や生成 AI の普及等に

売買単位	100 株
1/30 終値	3708 円
目標株価	4000 円
業種	建設

よるクラウドサービスやデータセンター需要の拡大が業績の追い風となっている。26 年 3 月期通期売上高は 6200 億円 (前期比 7.2% 増)、営業利益は 340 億円 (同 21.5% 増) 予想。株価は好業績を映し堅調に推移している。次の大台 4000 円を目標株価としたい。

★リスク要因

金利上昇下での企業の設備投資意欲の動向など。

1417: 日足

長期上昇相場形成中。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連	470,385	1.4%	32,804	34,152	7.6%	25,163	250.84
2023/3連	483,987	2.9%	21,803	22,384	-34.5%	14,781	151.20
2024/3連	518,384	7.1%	17,830	18,690	-16.5%	12,535	133.34
2025/3連	578,599	11.6%	27,985	27,470	47.0%	17,179	189.40
2026/3連予	620,000	7.2%	34,000	34,000	23.8%	21,000	236.73

J. フロント リテイリング 〈3086〉 プライム

富裕層・訪日客戦略の深耕と不動産事業の多角化で高収益体制を確立

■「脱・百貨店」を掲げる複合小売グループ

大丸松坂屋百貨店とパルコを中核とする大手小売グループ。従来の百貨店業態の枠を超え、不動産事業や金融事業を融合させた独自のビジネスモデルを構築している。富裕層による高額消費の取り込みや、インバウンド需要の戦略的な獲得、さらには「GINZA SIX」に代表される都市再開発による収益源の多角化に強みを持つ。また、グループ全体の ESG 経営を推進し、環境配慮型の店舗運営や地域共生を通じて、持続可能な次世代型商業施設のあり方を提示し、新たな成長機会の創出を加速させている。

■直近業績は増収を確保、事業ポートフォリオの刷新が進展

26年2月期第3四半期の連結業績は、売上収益3281.27億円(前年同期比3.8%増)、事業利益415.11億円(同7.4%減)となった。高額品の好調やショッピングセンター(SC)事業の伸長が寄与し増収を確保したが、前期のインバウンド急増の反動や店舗

売買単位	100 株
1/30 終値	2253.5 円
目標株価	2650.0 円
業種	小売

改装等の先行投資、店舗閉鎖決定に伴う損失計上が利益を一時的に圧迫。通期予想は、強固な顧客基盤と資産効率(親会社所有者帰属持分比率 35.2%)を意識した経営により堅実な推移を見込む。資産価値の最大化と高収益化への取り組みを根拠に、目標株価は2650.0円とする。

★リスク要因

インバウンド需要の減速、個人消費の冷え込みなど。

3086: 日足

資産効率の改善が評価されるか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/2連	331,484	3.9%	9,380	6,190	-	4,321	16.50
2023/2連	359,679	8.5%	19,059	16,873	172.6%	14,237	54.32
2024/2連	407,006	13.2%	43,048	41,343	145.0%	29,913	114.06
2025/2連	441,877	8.6%	58,199	55,785	34.9%	41,424	160.35
2026/2連! 予	452,000	2.3%	44,000	39,500	-29.2%	26,000	103.13

ダイワボウホールディングス〈3107〉プライム

法人向けパソコン販売が主力、上期営業利益は 65.9%増

■国内最大級の法人向けディストリビューター

24年3月に繊維事業をグループから独立させ、現在は、IT関連商品・サービスを提供する「IT インフラ流通事業」と「産業機械事業」の2事業を行う。ITインフラ流通事業は売上高の98.9%（25年3月期）を占める主力事業で、取扱商品はパソコン本体が48%、周辺機器・サービスが35%、ソフトウェアが17%（同）。取り扱いメーカー数は1500社、取り扱いアイテム数は290万アイテム、販売パートナー数は1万9000社、エンドユーザーは18万社以上に上り、法人向けパソコンの国内シェアは6.5%（同）と、国内最大級のディストリビューター（専門商社）となっている。

■GIGAスクール第2期など追い風

26年3月期上期売上高は6568.30億円（前年同期比27.0%増）、営業利益は224.35億円（同65.9%増）。昨年10月のWindows10サポート終了に伴う需要の取り込みに注力し、また、

売買単位	100 株
1/30 終値	3036 円
目標株価	3327 円
業種	卸売

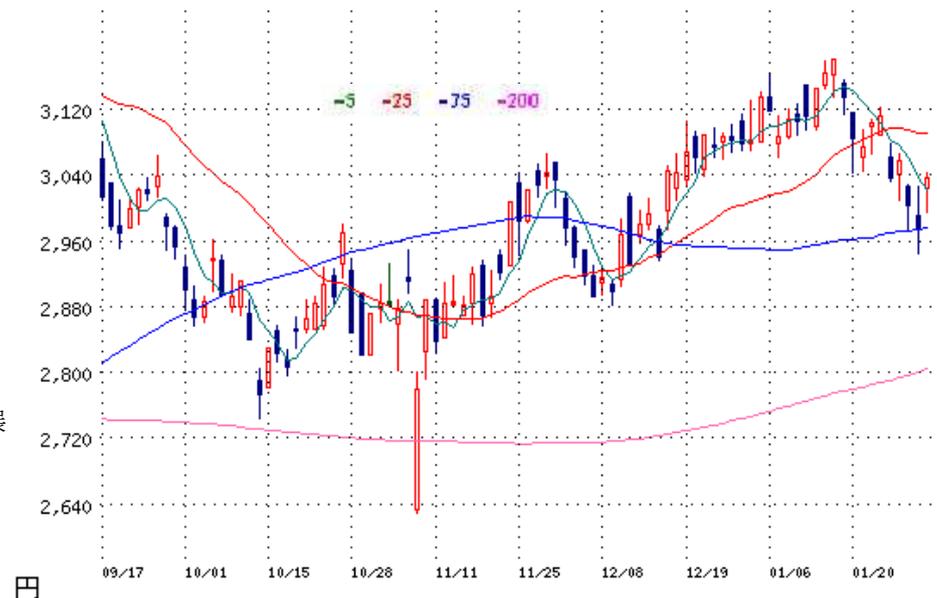
文科省が推進するGIGAスクール第2期が導入フェーズへと移行し、事業の追い風となっている。26年3月期通期売上高は1兆3370億円（前期比17.6%増）、営業利益は450億円（同28.9%増）予想。株価は底堅く推移している。昨年来高値3327円を目標株価としたい。

★リスク要因

金利上昇局面での企業の設備投資動向など。

3107:日足

やや上値が重いが下値は堅い展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連	763,838	-26.8%	24,059	24,554	-31.4%	16,988	178.14
2023/3連	903,918	18.3%	27,944	28,608	16.5%	19,059	202.79
2024/3連	967,760	7.1%	30,963	31,431	9.9%	4,283	45.82
2025/3連	1,136,817	17.5%	34,899	35,454	12.8%	24,751	271.37
2026/3連予	1,337,000	17.6%	45,000	45,300	27.8%	30,800	346.04

クリエイトSDホールディングス〈3148〉プライム

ドミナントと調剤併設で高収益を確保、株主還元も一層強化

■ドラッグストア事業が主力

ドラッグストア事業を主力に展開、ドラッグストア店舗における調剤併設率は5割を超えている。26年5月期中間期は、売上高2419.26億円(前年同期比7.6%増)、経常利益116.91億円(同8.2%増)で増収増益を確保した。食料品及び調剤部門が牽引し、既存店売上高は前年同期を上回る水準で堅調に推移した。これに加え、サンエフ及び八百半ホールディングスの子会社化が寄与した。通期では売上高4915億円(前期比7.5%増)、経常利益249億円(同6.3%増)を見込む。既存店売上高の堅調な推移に加え、ドラッグストア、調剤薬局の出店計画を推進する。

■中計では株主還元も一歩踏み込む

直近の株価は横ばい推移。同社は5カ年の中期経営計画で、最終年度の30年5月期に売上高6800億円、経常利益率5.0%以上、ROE12.0%以上の目標を掲げている。成長戦略の柱は、

売買単位	100 株
1/30 終値	3245 円
目標株価	3500 円
業種	小売

自力出店によるオーガニック成長とM&Aによる規模拡大である。既存エリアにおけるドミナント深耕を進めるとともに、北関東や甲信越などの新商勢圏への進出に注力する。そのほか、株主還元も従来の連続増配方針から一歩踏み込む方針。底堅い業績推移を横目に、レンジ超えの3500円をターゲットとしたい。

★リスク要因

M&A後のPMI状況など。

3148:日足

3200円から3400円のレンジで横ばい推移。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/5連	350,744	3.6%	18,176	18,665	-2.1%	12,595	199.24
2023/5連	380,963	8.6%	18,912	19,428	4.1%	12,925	204.46
2024/5連	422,330	10.9%	20,227	20,882	7.5%	13,691	215.61
2025/5連	457,093	8.2%	22,625	23,414	12.1%	15,685	242.82
2026/5連予	491,500	7.5%	24,100	24,900	6.3%	16,300	252.31

東亜合成〈4045〉プライム

PBR0.9 倍台かつ配当利回り 3.7%、隠れ下水道関連銘柄としても注目

■幅広い製品群を有する高機能化学メーカー

瞬間接着剤「アロンアルファ」などの消費者向け製品から、高度な半導体製造プロセスに不可欠な高純度ガスまで、幅広い製品群を有する高機能化学メーカー。5つの事業セグメントが主力。25年12月期第3四半期累計の売上高は1198.63億円(前年同期比2.8%減)、営業利益は106.07億円(同1.4%減)で着地した。基幹化学品事業で、一般的に販売数量が減少したものの固定費の削減により大幅増益を確保。樹脂加工製品事業も、インフラ老朽化対策製品が好調に推移した。通期計画は、売上高1625億円(前期比3.0%減)、営業利益140億円(同1.6%減)を見込む。

■日銀の利上げにより事業環境が一段と好転

26年に入ってからも株価は右肩上がりで堅調に推移している。今後は、中期経営計画に基づき、モビリティ、半導体、メディカルを注力分野として成長を加速させる。また、国内市場が成熟

売買単位	100 株
1/30 終値	1756 円
目標株価	1900 円
業種	化学

する中で、海外売上高比率の向上を明確なターゲットとして掲げ、インドでの新会社設立やベトナムでの拠点開設を通じて人口増加と経済発展が見込まれるエリアでのシェア拡大を狙う。中計期間は期間総還元性向 100%を目途としており、PBR0.9 倍台で推移するなか、1割高の1900円を目先の目標株価とする。

★リスク要因

販売数量の減少やコスト高など。

4045:日足

右肩上がりで推移して一時 1800 円手前まで迫る。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/12連	156,313	17.2%	17,676	18,983	45.4%	13,771	108.14
2022/12連	160,825	2.9%	14,382	16,446	-13.4%	12,494	101.31
2023/12連	159,371	-0.9%	12,499	14,503	-11.8%	12,179	102.78
2024/12連	167,594	5.2%	14,233	15,993	10.3%	11,877	104.56
2025/12連予	162,500	-3.0%	14,000	14,800	-7.5%	12,200	111.67

eWeLL 〈5038〉 グロース

新プロダクト「AI 訪問予定ルート」の申込が順調、3Q は順調に進捗

■「AI 訪問予定ルート」申込数が順調に増加

在宅医療領域に特化した DX 支援を行う。訪問看護向け電子カルテ「iBow」を主力に、地域全体の医療リソースを最適化するマッチングプラットフォーム「けあログっと」等、SaaS 型プロダクトを展開しており、全国の訪問看護ステーションで導入が進んでいる。新プロダクトの「AI 訪問予定ルート」は、25 年 10 月末時点で無料申込数が 1130 件(全ステーションに対する割合 34%)と順調に増加。課金は 26 年 1 月より開始としている。

■2月13日に通期決算発表予定

25 年 12 月期第 3 四半期の業績は、売上高 24.73 億円(前年同期比 33.0%増)、営業利益 11.95 億円(同 45.2%増)と順調に進捗。営業利益率は 48.3%と高水準を維持している。例年新規獲得が落ち着きやすい第 3 四半期においても、過去最高となる 150 件の新規契約を獲得し、契約ステーション数は 3386(同 17.1%

売買単位	100 株
1/30 終値	2501 円
目標株価	3000 円
業種	情報・通信

増)まで拡大した。好業績を背景に第 3 四半期決算を発表すると同時に増配も発表。なお、2 月 13 日に通期決算発表を予定している。株価面では、まずは昨年 11 月以来となる 3000 円台回復が意識されよう。

★リスク要因

診療報酬改定など。

5038: 日足

200 日線は上向きを維持。一時的な割り込みにとどまれば上昇トレンド中の調整局面との解釈も。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/12単	1,192	50.9%	401	403	98.5%	340	809.25
2022/12単	1,603	34.5%	692	676	67.7%	449	67.18
2023/12単	2,069	29.1%	908	910	34.6%	612	86.12
2024/12単	2,571	24.3%	1,135	1,138	25.1%	808	53.83
2025/12単予	3,349	30.3%	1,494	1,499	31.7%	1,040	68.26

日機装〈6376〉プライム

ポンプ・航空宇宙・メディカルなどで事業展開、LNG 設備投資など追い風

■ポンプが主力、航空機部品や透析装置でも存在感

産業用ポンプ・システムなどのインダストリアル事業が売上収益(売上高)の53%を占め、航空宇宙事業が8%、メディカル事業が39%となっている。ポンプは、LNG輸送、石油精製、化学品など高圧・無漏洩・極低温などの過酷な条件下向け製品に強みを持つ。航空宇宙事業は、カスケード(着陸時の逆噴射気流を制御する部品)が主力。1983年に世界で初めて炭素繊維強化プラスチック製カスケードの開発に成功し、ボーイングやエアバスはじめ、あらゆる航空機で採用されており、累計出荷数は80万個を突破している。メディカル事業は、血液浄化分野などに製品を供給し、透析装置の国内シェアは50%超。

■25年12月期営業利益は前期比2.1倍の見込み

25年12月期第3四半期累計の売上収益は1522.78億円(前年同期比0.4%増)、営業利益は82.11億円(同2.1倍)。インダストリアル事業の主要市場であるLNG分野は、米国で設備投資需要

売買単位	100	株
1/30 終値	1779	円
目標株価	2000	円
業種	精密機器	

が高まっており、同社事業の追い風となっている。25年12月期通期売上収益は2305億円(前期比8.0%増)、営業利益は140億円(同2.1倍)の見込み。通期決算発表は2月13日の予定。株価は底堅く推移している。次の大台2000円を目標株価とした。

★リスク要因

円相場の急激な変動など。

6376: 日足

高値圏で利益確定売りこなしつつ底堅い動き。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/12連	167,759	5.8%	3,125	3,952	-56.3%	221	3.11
2022/12連	177,109	5.6%	34,222	32,682	727.0%	13,639	195.23
2023/12連	192,629	8.8%	5,885	11,626	-64.4%	9,071	137.09
2024/12連	213,379	10.8%	6,398	10,010	-13.9%	7,957	120.15
2025/12連(予)	230,500	8.0%	14,000	14,700	46.9%	11,300	170.63

INTLOOP 〈9556〉 グロース

直近10期のCAGRは47.2%、30年7月期に売上高1000億円を目標

■直近10期のCAGRは47.2%

コンサルティングを起点に企業のDX・IT化を支援。社員とフリーランスによるハイブリッド体制を構築することで、高いサービス品質を実現している。上流工程からの参画に強みを持ち、とりわけ基幹システム導入を含むDX案件で実績を積み上げてきた。直近10期の売上高年平均成長率(CAGR)は47.2%と高水準。中長期的には30年7月期までに売上高1000億円、営業利益150億円の達成を目標に掲げている。

■1Qは好調な立ち上がり

昨年12月12日に発表した26年7月期第1四半期決算は、売上高96.31億円(前年同期比21.0%増)、営業利益6.97億円(同37.8%増)と増収増益で着地。高収益案件の獲得が寄与し、通期計画に対して順調な立ち上がりとなった。第2四半期以降は、順調に進捗する中途採用の効果が下期から顕在化し、業績拡大に寄与する見通し。また、積極的なM&A姿勢も継続しており、昨年

売買単位	100 株
1/30 終値	3600 円
目標株価	4000 円
業種	サービス

11月にはテックピットから事業を譲受。フリーランス人材のデータベースの拡充と、サービス提供能力の強化を進めている。株価は75日線を下回り調整局面に入ったものの、足下では200日線近辺で下げ止まりつつあり、まずは4000円台回復を試す展開が意識される。

★リスク要因

競合他社との競争激化など。

9556: 日足

200日線を意識した下げ止まりから反発を試す展開か。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/7単	13,120	41.9%	793	772	84.7%	517	128.02
2023/7単	17,823	35.8%	1,105	1,107	43.4%	794	172.25
2024/7連	27,077	-	1,506	1,535	-	902	194.36
2025/7連	33,551	23.9%	2,186	2,217	44.4%	1,367	146.49
2026/7連予	43,800	30.5%	3,100	3,200	44.3%	2,100	224.27

アドバンテスト プライム<6857>/想定以上の好決算発表も伸び悩み

28日に第3四半期の決算を発表、10-12月期営業利益は1136億円で前年同期比64.0%増となり、700億円程度の市場予想を大きく上回っている。つれて、通期予想は従来の3740億円から4540億円、前期比99.0%増に上方修正。市場コンセンサスは3800億円程度であったとみられ、想定以上の好業績にポジティブなサプライズが先行した。また、新たに示された26年度のテスト市場見通しも、市場の期待値を上回るものとなっている。

29日の急騰後に株価は軟化、先週末終値は決算前の水準まで調整している。半導体関連全般の下落に加え、1月末が日経平均のウェイト調整基準日であったことも警戒材料になった。結局、3月末にリバランス売りが発生することになったが、目先はあく抜け感も生じると考えられる。国内外半導体企業の好決算発表も続くともみられ、押し目買い妙味といえよう。



ファナック プライム<6954>/フィジカル AI 関連製品の受注、引き合いが好調

26日に第3四半期の決算を発表、10-12月期営業利益は417億円で前年同期比19.6%増となったが、市場予想はやや下振れとみられる。未実現利益が主因とはいえ、通期予想も1759億円から1729億円、前期比8.8%増に下方修正しており、その後の株価はやや調整含みになっている状況。

受注高は2202億円で前年同期比9.5%増とほぼ市場想定線並みであった。ただし、市場の注目度が高いフィジカル AI 関連製品の受注や引き合いは好調。第3四半期にはフィジカル AI を搭載したロボットを1000台受注済み、加えて、数千台規模の商談もあるもよう。今後の展開への期待感を一段と高めたいところである。また、工作機械受注も、12月は北米での拡大が目立ってきている。今後のCNC装置の需要拡大に直結するとみられ、27年3月期の業績期待は今後強まっていく可能性が高いだろう。



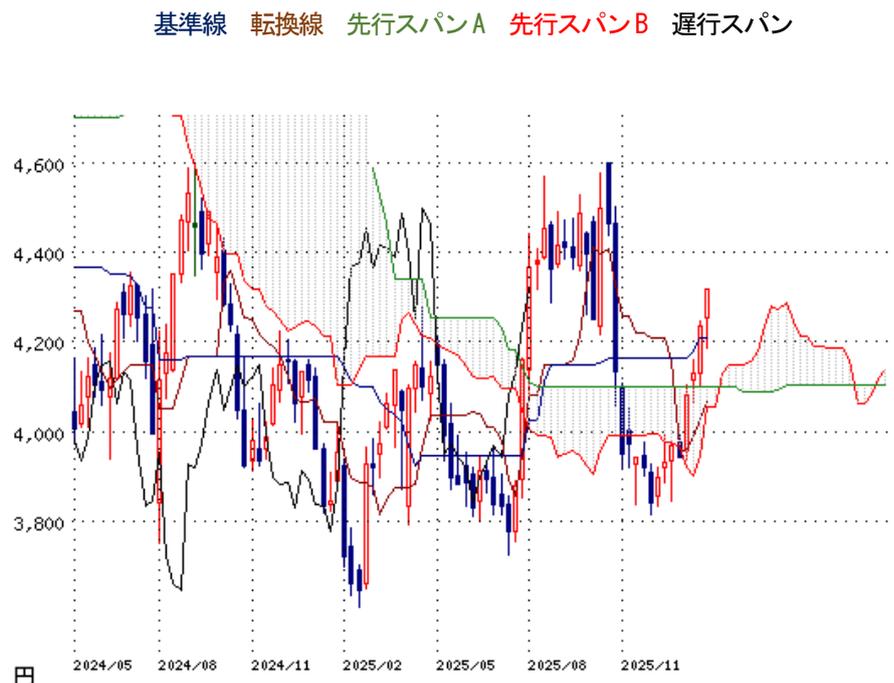
セブン&アイ ホールディングス 東証プライム<3382>

日足ベースのローソク足。1月28日は前日までの連続陰線から下ヒゲを伴う陽線に転じ、翌29日は前日と同値の2133.5円で下げ止まって下値を固める形となった。週末30日は2日続けて「陽の大引け坊主」を示現し、強い上値追いつきを窺わせた。株価下方で75日線や200日線が緩やかに上昇して大勢強気を示唆しており、昨年12月安値2053円から今年1月高値2353円までの上げ幅を29日安値を起点に当てはめたN計算値2433.5円が次の上値目標となろう。



阪急阪神ホールディングス 東証プライム<9042>

週足ベースの一目均衡表。先々週終値の基準線突破に続き、先週は4本連続陽線で高値引け。高値、安値、終値がそろって連続で切り上がる赤三兵を2週連続で形成し、買い気の強まりを窺わせた。基準線と転換線が上昇基調にあることに加え、遅行線は弱気シグナルを急速に縮小して地合い改善を示唆している。今週末終値が4380円以上であれば遅行線の強気転換で三役好転が完成し、昨年10月高値奪回に向けて歩を進める展開を期待できよう。



テーマ別分析:円高メリット銘柄を再点検

■円高進行と政策思惑が交錯

1月23日に米連邦準備制度理事会（FRB）がレートチェックを実施したとの観測を背景に、為替市場ではドル安・円高が進行した。足下の円高局面では、これまでの円安進行によって相対的に出遅れていた円高メリット銘柄を改めて見直す動きが意識されやすい。とりわけ、商品の調達や原材料を海外に依存する比率が高い小売・消費関連企業では、円高による仕入れコスト低下が利益率の改善につながりやすく、業績面での押し上げ効果が期待される。

また、国内では2月8日に衆議院議員総選挙の投票日を控え、各党が「食料品消費税ゼロ」など家計負担の軽減を意識した政策を打ち出しており、生活必需品や低価格業態を中心とした小売関連は物色テーマとして浮上しやすい局面といえる。減税の実現性を巡る不透明感が残るものの、政策期待そのものが株価材料として意識される可能性は高く、為替要因とあわせて注目しておきたい。

■主な「円高メリット」関連銘柄

コード	銘柄略称	市場	1/30 株価 (円)	概要
2201	森永製菓	プライム	2696.0	カカオなどの原材料を海外から輸入しており、円高効果が利益に直結しやすい。
2698	キャンドゥ	スタンダード	3425	商品の多くを海外輸入しており、円高によるコストダウンに期待。イオン<8267>傘下。
2726	バルグループHD	プライム	1668	「3COINS」など中心に商品の多くを海外生産・調達に依存。
2782	セリア	スタンダード	3690	100円ショップ「Seria」展開。1月30日に通期業績予想上方修正 & 増配発表。
2791	大黒天物産	プライム	5080	「ラ・ムー」など展開。PB商品を中心に海外調達比率が高く、円高メリットを受けやすい。
2871	ニチレイ	プライム	1912.0	原材料の一部を海外から調達しており円高によるコストダウンに期待。
3038	神戸物産	プライム	3805	国内製造のオリジナル商品のほか、世界各国の商品を直輸入。輸入比率高く円高メリット大。
3046	ジンスHD	プライム	5180	メガネフレームなどの大部分を海外で生産しており、円高メリットを享受しやすい。
3349	コスモス薬品	プライム	6945	売上は回復基調。円高進行が粗利率改善の好材料に。
7453	良品計画	プライム	3081	「無印良品」展開。調達・生産のグローバル化が進んでおり、円高でコスト抑制期待。
7545	西松屋チェーン	プライム	2140	商品の多くを海外から輸入し、円高メリット受けやすい。
7564	ワークマン	スタンダード	6360	多くの商品を海外から直接仕入れ。円高で調達環境改善。
9842	アーケランズ	プライム	1914	「ムサシ」「ビバホーム」展開。円高で仕入れ改善期待。
9843	ニトリHD	プライム	2655.0	商品の約9割を海外生産しており、円高恩恵銘柄の代表的存在。
141A	トライアルHD	グロース	2892	円高で仕入れ改善。低価格業態の強み発揮。

出所：フィスコ作成

2月決算企業の配当権利取りの動きを先取りへ

■現在の市場の関心は10-12月期の決算発表に集中

今週からは名実ともに2月相場入りとなり、2月末決算企業の配当権利取りの動きなどにも注目しておきたい。現在は10-12月期決算発表が本格化し、市場の関心も決算発表銘柄に集中しやすくなるため、比較的、2月決算企業の配当権利取りが本格化するまでには時間を要するとみられる。その意味では、2月末高配当利回り銘柄の権利取りの動きを先取りするチャンスであるともいえる。第3四半期の決算発表が一巡したタイミングでもあり、権利落ちに向けてのネガティブ材料なども表面化しにくいと考えられる。

スクリーニング要件としては、①2月期本決算、②配当利回りが4%以上。

■2月決算の高配当利回り銘柄

コード	銘柄	市場	1/30株価 (円)	時価総額 (億円)	配当利回り (%)	株価騰落率 (%)	予想 1株利益 (円)
1418	インターライフHD	スタンダード	578.0	98.3	4.33	-18.71	48.11
2379	ディップ	プライム	2,051.0	1233.5	4.63	-7.28	152.87
3353	メディカルー光G	スタンダード	2,927.0	110.4	4.10	-0.10	332.07
3548	パロックジャパン	プライム	782.0	286.8	4.86	-0.26	13.92
3562	No.1	スタンダード	1,845.0	129.7	4.23	-25.60	96.82
365A	伊澤タオル	スタンダード	703.0	70.3	4.98	6.68	49.92
4714	リソー教育G	プライム	206.0	353.9	4.85	2.49	9.05
6183	ベルシステム24HD	プライム	1,432.0	1067.2	4.19	-0.62	110.10
7847	グラフィートデザイン	スタンダード	674.0	46.8	4.45	5.97	25.78
8008	ヨンドシーHD	プライム	1,821.0	443.1	4.56	1.85	74.52
8016	オンワードHD	プライム	733.0	1040.3	4.09	-0.27	73.67
8125	ワキタ	プライム	2,015.0	1048.2	4.96	4.51	61.66
8185	チヨダ	プライム	1,098.0	377.3	4.92	0.64	29.07
8931	和田興産	スタンダード	1,734.0	192.5	4.04	1.17	228.20
9381	エーアイティ	プライム	2,239.0	535.4	4.47	3.37	134.93

(注) 株価騰落率は昨年末比

(注) 配当利回りの網掛けは期末一括配当

出所：フィスコアプリより作成

改めて考える TOPIX ルール変更の影響

■短期のイベントのみならず、中長期的な影響にも留意すべき

SMBC 日興証券では、今年 10 月から実施される TOPIX 改革の第 2 段階に注目している。新ルールでは、上場市場を問わず、浮動株時価総額累積比率の上位 96% に含まれる銘柄が TOPIX に採用され、年に 1 度見直される形となるもよう。今後 TOPIX に採用あるいは残留するためには、株価が浮動株比率を上昇させ、浮動株時価総額を高める必要があり、ボーダーライン付近にある銘柄にとっては、固定株主の保有株を市場で売却し、浮動株数を増やすことが重要であると指摘している。また、TOPIX は主要な年金のベンチマークとして使われ、またパッシブ運用や先物取引に使われているため、TOPIX から削除されることの影響は小さくないと考察している。

「累積浮動株時価総額ウェイトが上位 96% 以内の TOPIX 非構成銘柄」(SMBC 日興証券)

銘柄コード	銘柄名	1/22株価 (円)	25日平均 売買代金 (百万円)	年間 売買代金 回転率	浮動株 比率	浮動株 時価総額 (十億円)	累積浮動株 時価総額 ウェイト	2026/10 予想フロー (百万円)	2026/10 予想フロー (千株)	2026/10 予想フロー (日数)
2702	マクドナルド	6,710.0	4,338	0.88	0.65	563.2	79.3%	95,684	14,260	22.1
3350	メタブラ	510.0	15,686	16.23	0.45	275.5	86.4%	43,255	84,814	2.8
6890	フェローテック	6,630.0	2,537	2.28	0.90	238.2	87.6%	46,390	6,997	18.3
6324	ハーモニック	3,770.0	4,935	5.67	0.50	182.9	89.7%	29,956	7,946	6.1
7906	ヨネックス	3,350.0	876	1.42	0.50	157.0	90.7%	25,667	7,662	29.3
2782	セリア	3,820.0	731	0.80	0.55	154.8	90.8%	26,291	6,882	36.0
4816	東映アニメ	2,734.0	1,103	1.80	0.25	144.9	91.3%	23,683	8,663	21.5
6366	千代建	858.0	4,516	4.88	0.60	137.3	91.7%	22,112	25,772	4.9
7564	ワークマン	6,520.0	1,611	2.44	0.25	134.1	91.8%	22,013	3,376	13.7
2160	ジーエヌアイ	2,635.0	3,736	4.61	0.90	126.3	92.2%	21,788	8,269	5.8
7716	ナカニシ	2,225.0	373	0.65	0.60	116.0	92.6%	20,578	9,248	55.2
4966	上村工	17,450.0	498	0.89	0.40	115.0	92.6%	20,845	1,195	41.9
6960	フクダ電	9,310.0	300	0.24	0.35	114.0	92.7%	20,295	2,180	67.6
141A	トライアル	3,015.0	4,449	6.26	0.30	112.1	92.7%	18,271	6,060	4.1
9436	沖縄セルラー	3,120.0	307	0.54	0.40	110.4	92.8%	19,393	6,216	63.3
4592	サンバイオ	1,890.0	2,763	8.50	0.70	99.1	93.2%	17,034	9,013	6.2
7287	日精機	2,676.0	488	0.70	0.70	98.8	93.2%	18,072	6,753	37.0
6670	MCJ	1,647.0	480	0.80	0.55	90.7	93.6%	15,212	9,236	31.7
1723	日本電技	10,060.0	570	0.70	0.60	88.9	93.7%	16,328	1,623	28.6
1965	テクノ菱和	8,290.0	528	1.21	0.50	81.3	94.0%	14,519	1,751	27.5
4478	フリー	2,966.0	1,022	3.28	0.45	80.3	94.1%	13,017	4,389	12.7
4107	伊勢化	6,120.0	8,519	13.94	0.30	80.0	94.1%	15,556	2,542	1.8
8117	中央自	2,113.0	125	0.35	0.60	71.2	94.6%	12,564	5,946	100.7
7412	アトム	592.0	316	0.90	0.60	66.5	94.9%	11,344	19,162	35.9
6736	サン電子	8,270.0	364	1.73	0.30	66.0	94.9%	9,828	1,188	27.0
5161	西川ゴム	3,795.0	436	1.52	0.50	65.6	95.0%	11,584	3,053	26.5
7279	ハイレックス	3,715.0	304	0.69	0.50	65.4	95.0%	11,713	3,153	38.6
290A	Syns	1,110.0	2,896	7.13	0.43	62.6	95.1%	10,437	9,402	3.6
6016	ジャパンエン	13,670.0	3,220	14.20	0.50	59.5	95.2%	9,473	693	2.9
9166	GENDA	792.0	1,821	6.51	0.40	58.0	95.3%	9,733	12,289	5.3
215A	タイミー	1,354.0	3,487	17.49	0.40	56.3	95.5%	8,996	6,644	2.6
2805	エスピー	4,410.0	125	0.31	0.50	56.2	95.5%	9,912	2,248	79.1
6834	精工技研	12,150.0	1,208	5.78	0.50	54.5	95.6%	9,356	770	7.7
186A	アストロHD	921.0	4,517	14.68	0.45	51.0	95.8%	9,277	10,073	2.1

注：TOPIX 非構成銘柄のうち、東証全上場銘柄の累積浮動株時価総額ウェイト 96% 以内の銘柄を全て示す。データは 2026 年 1 月 22 日時点。累積浮動株時価総額ウェイトの昇順に掲載した。予想フローは、パッシブファンドが指数用株式数の 22% を保有する前提で計算した。年間売買代金回転率は 2025 年 1 月から 2025 年 12 月まで直近 12 ヶ月間の月次売買代金合計。月次売買代金は日次売買代金の中央値×営業日数÷月末最終営業日の浮動株時価総額/出所：QUICK、SMBC 日興証券予想

グリーンランドを巡る混乱のなかで買い残が膨らむ

1月23日時点の2市場信用残高は、買い残高が2619億円増の5兆1161億円、売り残高が156億円減の9122億円。買い残高が3週連続の増加、売り残高は2週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は-1.21%から-1.64%、売り方の評価損益率は10.78%から15.10%に。なお、信用倍率は5.23倍から5.61倍となった。

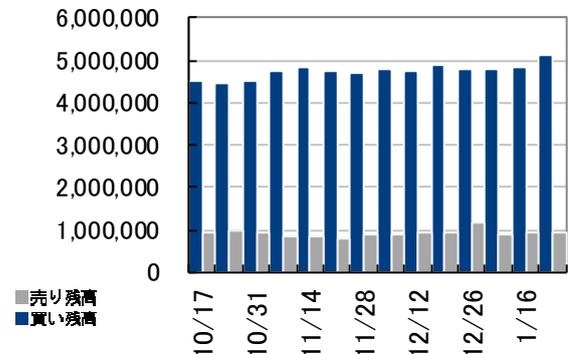
この週(1月19日-23日)の日経平均は前週末終値比89.30円安の53846.87円。週央にかけては売りが優勢となったものの、週後半は一転して下げ渋る展開になった。トランプ米大統領がグリーンランドを巡って、米国の領有反対国に対して最大25%の関税を課すと発表、さらに、国内債券市場においては、財政拡張の懸念から長期金利が約27年ぶりの水準に上昇し、週前半にかけての売り材料となった。ただ、トランプ大統領がグリーンランド取得を巡り、将来のディールに向けた骨組みで北大西洋条約機構(NATO)と合意に達し、対欧州の追加関税計画を撤回する方針を示したことから、週後半にかけては一転して買い戻しが優勢となった。

個別では、積水ハウス<1928>の信用倍率は0.79倍と、前週の2.05倍から売り長の需給になった。1月期決算であるため、株主優待をノーリスクで得るための、ヘッジ対応の新規売りが積み上がった形であろう。サンリオ<8136>の信用倍率は23.36倍となり、前週の44.59倍から取り組みが改善した。ただ、買い長の需給状況のなかで昨年来安値を更新しており、戻り待ち狙いの新規売りも入りやすく、売り方優位の需給状況である。一方で古河電<5801>の信用倍率は5.31倍と、前週の9.09倍から取り組みが改善した。子会社の光コネクタ増産が伝えられ、データセンター向けの重要製品との思惑から急動意をみせており、この局面で買い方の利益確定の売りに対して新規売りが積み上がる形だった。

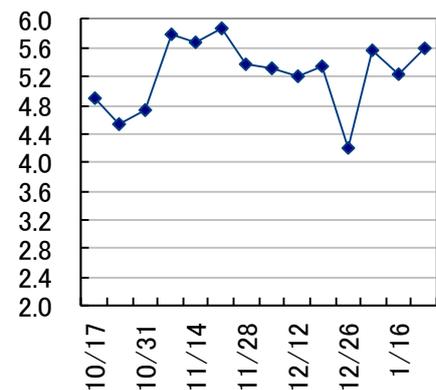
取り組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	1/30終値(円)	信用買残(1/23:株)	信用売残(1/23:株)	信用倍率(1/23:倍)	信用買残(1/16:株)	信用売残(1/16:株)	信用倍率(1/16:倍)
8142	プライム	トーヨー	1,278.0	144,400	1,105,900	0.13	558,500	1,017,000	0.55
2871	プライム	ニチレイ	1,912.0	581,000	7,250,700	0.08	540,100	2,095,500	0.26
1861	プライム	熊谷組	1,734.0	626,400	3,722,700	0.17	783,400	1,625,200	0.48
5344	プライム	MARUWA	47,640.0	21,500	25,000	0.86	31,000	13,600	2.28
1928	プライム	積水ハウス	3,438.0	1,528,000	1,926,300	0.79	1,073,300	522,500	2.05
9022	プライム	JR東海	4,307.0	473,000	335,100	1.41	451,200	133,500	3.38
3391	プライム	ツルハHD	2,466.0	359,600	430,500	0.84	411,400	217,700	1.89
9842	プライム	アーケラズ	1,914.0	167,600	1,822,400	0.09	168,900	963,400	0.18
8136	プライム	サンリオ	4,755.0	14,495,000	620,400	23.36	15,289,800	342,900	44.59
4519	プライム	中外薬	8,801.0	589,600	131,300	4.49	771,100	92,200	8.36
5262	プライム	日ヒューム	1,605.0	2,029,300	1,433,800	1.42	2,118,100	824,200	2.57
7545	プライム	西松屋チェ	2,140.0	130,100	508,400	0.26	124,000	266,300	0.47
5801	プライム	古河電	13,530.0	2,163,200	407,700	5.31	2,305,300	253,700	9.09
9861	プライム	吉野家HD	3,056.0	319,400	495,300	0.64	320,600	305,600	1.05
2501	プライム	サッポロHD	1,639.0	268,500	658,600	0.41	375,000	597,100	0.63

信用残高 金額ベース 単位: 百万円



信用倍率 (倍)



コラム:カーニーの選択

ドル・カナダドルが心理的節目に接近し、売り買いが交錯しています。主因は米国の信用失墜によるドル売りですが、カナダドル自体に積極的な買いが入りやすい環境が整いつつあるのも事実。カナダドルの上昇は長期化するのか。注目されるのは、カナダが掲げる「第三の選択」の実効性です。

カナダ銀行(中銀)は1月の会合で政策金利を2.25%に据え置きました。マックレム総裁は不確実性の高さを理由に、次の政策変更の時期や方向性を見通すのは困難だと発言。金融政策が明確な道筋を示しにくい局面では、為替市場の関心は金利差よりも、通貨の質や政治環境に向けられます。こうしたなか、ここ数年節目として意識されてきた水準の1.35カナダドル付近に差し掛かっています。

年明け後の米ドル・カナダドル相場は方向感を欠きながらも、今半月ば以降はカナダドル高を試す場面が続いています。米国の財政、通商政策の不透明感によるドル売りに加え、カナダ中銀の利下げサイクル終了でドル安・カナダドル高も顕著になってきました。

その先を決める要因として浮上しているのが政治情勢です。カーニー政権は対米依存を見直し、多角的な外交・通商関係を築く方針。カナダは隣国の米国と常に一枚岩というわけではなく、これまでも幾度となく衝突してきました。1970年代にはトルドー首相(父)とニクソン米大統領との関係が冷え込み、欧州やアジアに貿易の活路を見出した経緯があります。現在もトランプ政権とのもつれを考えれば賢明な選択と言えるでしょう。

注目すべきは、カーニー政権が単に米国から距離を取るだけでなく、他国の指針となる行動を意識している点です。保護主義色を強める米国に対し、多国間協調やルール重視の姿勢を打ち出し、中堅国としての立ち位置を明確化。短期的には摩擦につながる場面もあるでしょうが、中長期的には政策の予見性と一貫性を市場に示す効果が期待されます。その一環として、対立していたインドとの対話も再開しました。

ドル安を背景にNY原油先物(WTI)は1バレル=60ドルを上回る水準に定着し、カナダドル買いの支援材料になっています。トランプ氏のドル安容認を受け、カナダドルが選好される地合いは当面続くかもしれません。米国の信用低下が意識される局面で、カナダが独自の選択を積み重ね、多国間の枠組みの中で存在感を高めていけば、カナダドルは相対的に信頼される通貨として位置づけられるでしょう。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-10
2	レーティング	格上げ・買い推奨	11
		格下げ・売り推奨	12
3	投資主体別売買動向	総括コメント	13
		市場別データ	14
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	15
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄 (プライム)	-
		雲下抜け銘柄 (プライム)	-

2月2日～2月8日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
2月2日	月	08:50	日銀金融政策決定会合における主な意見(1月22、23日分)
		09:30	製造業PMI(1月)
		10:45	中・RatingDog製造業PMI(1月)
		14:00	印・製造業PMI確定値(1月)
		18:00	欧・ユーロ圏製造業PMI(1月)
		20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(先週)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
		22:00	ブ・製造業PMI(1月)
		23:45	米・製造業PMI(1月)
		24:00	米・ISM製造業景況指数(1月)
2月3日	火	08:50	マネタリーベース(1月)
		12:30	豪・オーストラリア準備銀行(中央銀行)が政策金利発表
		17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(1月)
		20:00	ブ・ブラジル中央銀行金融政策委員会(COPOM)議事録公表
		21:00	ブ・鉱工業生産(12月)
		24:00	米・JOLT求人件数(12月)
2月4日	水	06:45	NZ・失業率(10-12月)
		09:30	サービス業PMI(1月)
		09:30	総合PMI(1月)
		10:45	中・RatingDogサービス業PMI(1月)
		10:45	中・RatingDog総合PMI(1月)
		14:00	印・サービス業PMI確定値(1月)
		14:00	印・総合PMI確定値(1月)
		18:00	欧・ユーロ圏サービス業PMI(1月)
		18:00	欧・ユーロ圏総合PMI(1月)
		19:00	欧・ユーロ圏消費者物価指数(1月)
		19:00	欧・ユーロ圏生産者物価指数(12月)
		22:00	ブ・サービス業PMI(1月)
		22:00	ブ・総合PMI(1月)
		22:15	米・ADP全米雇用報告(1月)
		23:45	米・サービス業PMI(1月)
		23:45	米・総合PMI(1月)
		24:00	米・ISM非製造業景況指数(1月)

2月2日～2月8日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容		
2月5日	木	08:50	対外・対内証券投資(先週)		
		09:30	豪・貿易収支(12月)		
		16:00	独・製造業受注(12月)		
		18:30	片山財務相が東京都の金融イベントにビデオ登壇		
		19:00	欧・ユーロ圏小売売上高(12月)		
		21:00	英・イングランド銀行(英中央銀行)が政策金利発表		
		22:15	欧・欧州中央銀行(ECB)が政策金利発表、ラガルド総裁が記者会見		
		22:30	米・新規失業保険申請件数(先週)		
		27:00	ブ・貿易収支(1月)		
		28:00	メキシコ・中央銀行が政策金利発表		
			新戦略兵器削減条約(新START)失効予定		
		2月6日	金	08:30	家計支出(12月)
				10:30	増一行日銀審議委員が愛媛県金融経済懇談会で講演、同記者会見
13:30	印・インド準備銀行(中央銀行)が政策金利発表				
14:00	景気一致指数(12月)				
14:00	景気先行CI指数(12月)				
15:00	コール市場残高(1月、日本銀行)				
16:00	独・鉱工業生産指数(12月)				
20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IGP-DI)(1月)				
22:30	米・非農業部門雇用者数(1月)				
22:30	米・失業率(1月)				
22:30	米・平均時給(1月)				
22:30	加・失業率(1月)				
24:00	米・ミシガン大学消費者信頼感指数速報(2月)				
29:00	米・消費者信用残高(12月)				
	年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が2025年10-12月期運用状況公表				
	印・外貨準備高(先週)				
	欧・ECB専門家予測調査				
2月7日	土		中・外貨準備高(1月)		
2月8日	日		衆院選投開票		

■(米)1月ISM製造業景況指数**2月2日(月)日本時間3日午前0時発表予定**

(予想は、48.3) 参考となる12月実績は47.9。大幅な改善は期待できないが、雇用情勢は特に悪化していないため、12月実績をやや上回る可能性がある。

■(欧)1月ユーロ圏消費者物価指数**2月4日(水)午後7時発表予定**

(12月実績は、前年比+1.9%) 対米関係の一段の悪化は回避され、ユーロ圏経済の停滞やインフレ見通しの引き下げにつながる材料が特にないため、1月のインフレ率は12月実績と差のない水準にとどまる可能性がある。

■(欧)欧州中央銀行(ECB)政策金利発表**2月5日(木)午後10時15分発表予定**

(予想は、政策金利の現状維持) ユーロ圏経済の減速は回避されており、米国と欧州の対立が一段と強まる可能性は低いいため、ECBが政策金利を変更する理由は特に見当たらない。

■(米)1月雇用統計**2月6日(金)午後10時30分発表予定**

(予想は、非農業部門雇用者数は前月比+7万人) 1月の雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回った場合、3月利下げの確率は一段と低下。失業率は4.4%で横ばいと予想されるが、市場予想と一致した場合、3月利下げ観測はやや後退する可能性がある。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
2月2日	1946	トエチ	プライム	15:00	2月3日	2768	双日	プライム	12:00
	2003	日東富士	スタンダード	16:00		2810	ハウス食G	プライム	14:00
	2222	寿スピリッツ	プライム	15:30		2871	ニチレイ	プライム	15:30
	2229	カルビー	プライム	12:00		2897	日清食HD	プライム	13:00
	2281	ブリッパム	プライム	15:00		2937	サンケール	グロース	
	2282	日本ハム	プライム	15:00		299A	クラシル	グロース	15:30
	2760	東レテバ	プライム	15:30		3064	MonotaRO	プライム	15:30
	2816	ダショー	スタンダード	15:00		3116	トヨ紡織	プライム	14:00
	2907	あじかん	スタンダード	15:00		3526	芦森工	スタンダード	16:00
	3132	マクニHD	プライム	15:00		3626	TIS	プライム	15:30
	3191	シヨイ本田	プライム	15:00		3802	エミック	スタンダード	11:00
	3371	ソトケIHHD	プライム	15:00		3908	コロボス	グロース	15:00
	3914	JIG-SAW	グロース			3941	レンゴー	プライム	13:00
	4203	住友ベ	プライム	11:00		4005	住友化	プライム	13:30
	4272	日化薬	プライム	16:00		4062	化デシ	プライム	
	4528	小野薬	プライム	12:00		4206	アイカ工	プライム	
	4736	日本ラッド	スタンダード	15:30		4310	D I	プライム	17:00
	4746	東計電算	スタンダード	15:30		4347	アロメティア	スタンダード	15:00
	4768	大塚商	プライム	15:00		4617	中国塗	プライム	15:30
	4886	あすかHD	プライム	15:30		4676	アジHD	プライム	
	5367	ニッカー	スタンダード	15:30		4772	SM ENTER	グロース	
	5444	大和工	プライム	13:00		5344	MARUWA	プライム	10:00
	5911	横河アHD	プライム	15:30		5384	アジミノ	プライム	16:00
	5933	アルインコ	プライム	15:00		5461	中部鋼	プライム	15:00
	5955	ワイズHD	スタンダード	15:00		5482	愛知鋼	プライム	14:00
	5992	中発条	スタンダード	14:00		5697	サンユウ	スタンダード	16:00
	6018	阪神燃	スタンダード	15:30		5802	住友電	プライム	15:00
	6467	ニチダイ	スタンダード	15:00		5821	平河ヒューテ	プライム	15:00
	6470	大豊工業	スタンダード	14:00		5857	AREHD	プライム	15:30
	6643	戸上電	スタンダード	15:00		6035	IRJ HD	プライム	13:00
	6762	TDK	プライム	15:30		6050	E G	プライム	15:00
	6971	京セラ	プライム	15:30		6201	豊田織機	プライム	11:00
	6981	村田製	プライム	14:00		6413	理想科	プライム	16:00
	7162	アストマックス	スタンダード	16:00		6471	日精工	プライム	15:30
	7236	ティラド	プライム	16:00		6472	NTN	プライム	
	7241	フタバ	プライム	16:00		6473	ジェイ外	プライム	15:00
	7283	愛三工	プライム	15:00		6503	三菱電	プライム	15:30
	7337	ひろぎん	プライム	14:00		6622	ダイソ	プライム	15:00
	7446	東北化学	スタンダード	16:00		6632	JVCKW	プライム	15:00
	7883	サンメッセ	スタンダード	15:00		6644	大崎電	プライム	15:00
	8081	カナデン	プライム	14:00		6718	アイホ	プライム	15:30
	8331	千葉銀	プライム	15:30		6724	エプソン	プライム	15:30
	8370	紀陽銀行	プライム	15:00		6741	日信号	プライム	13:00
	8411	みずほ	プライム	15:00		6806	ヒロ電	プライム	16:00
	8541	愛媛銀	プライム	13:00		6809	TOA	プライム	15:00
	8601	大和証G	プライム	11:30		6841	横河電	プライム	15:00
	9020	JR東日本	プライム	15:00		6888	アクモス	スタンダード	
	9022	JR東海	プライム	15:00		6902	デンソー	プライム	11:20
	9037	ハマキョウ	プライム	16:00		6908	イソ電子	プライム	16:00
	9064	ヤマトHD	プライム	15:35		7224	新明和	プライム	16:00
	9158	シーユーシー	グロース	15:30		7259	アイシン	プライム	
	9502	中部電	プライム	16:00		7282	豊田合	プライム	13:00
9532	大ガス	プライム	14:00	7565	万世電機	スタンダード	15:00		
9686	東洋テック	スタンダード	15:30	7974	任天堂	プライム	15:30		
9845	パーカー	スタンダード	16:00	7981	幼ラスカ	プライム	12:00		
9878	セキド	スタンダード	15:00	8015	豊通商	プライム	15:00		
9955	ヨンキョウ	スタンダード	15:30	8031	三井物	プライム	12:00		
2月3日	1967	ヤマト	スタンダード	15:00	8173	上新電	プライム	12:00	
	2226	湖池屋	スタンダード	13:00	8174	日ガス	プライム	15:30	
	2331	ALSOK	プライム	15:30	8255	アキアル	プライム		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
2月3日	8334	群馬銀	プライム	11:30	2月5日	6832	アイ電子	スタンダード	13:00
	8362	福井銀	プライム	13:00		6941	山一電	プライム	15:00
	8367	南都銀	プライム	14:00		6963	ローム	プライム	15:30
	8368	百五銀	プライム	15:50		7011	三菱重	プライム	13:00
	8386	百十四	プライム	15:00		7018	内海造	スタンダード	15:00
	8542	トト銀	スタンダード	14:00		7177	GMOFHD	スタンダード	15:31
	8558	東和銀	プライム	15:30		7296	エフ・シー・シー	プライム	15:00
	8920	東 祥	スタンダード	16:00		7506	ハウスローゼ	スタンダード	14:00
	9021	JR西日本	プライム	15:30		7859	アルメディア	スタンダード	15:00
	9057	遠州トラック	スタンダード	13:00		7951	ヤマハ	プライム	15:00
	9107	川崎船	プライム	15:30		7979	松 風	プライム	15:00
	9201	JAL	プライム	12:00		7991	ミヤOP	スタンダード	
	9303	住友倉	プライム	13:00		7995	バルカー	プライム	15:00
	9324	安田倉庫	プライム	15:00		7999	MUTOH-HD	スタンダード	16:00
	9325	フェイスHD	スタンダード	15:00		8002	丸 紅	プライム	11:00
	9347	日管財HD	プライム	14:00		8053	住友商	プライム	13:00
	9902	日 伝	プライム	13:00		8056	BIPROGY	プライム	15:00
	9990	サックスパーH	プライム	15:30		8059	第一実	プライム	14:00
	2月4日	1726	BRHD	プライム		16:00	8065	佐藤商	プライム
2130		メンバーズ	プライム	15:00	8098	稲畑産	プライム	14:00	
2136		ヒップ	スタンダード	16:00	8150	三信電	プライム	15:00	
2307		クロスキャット	プライム	15:00	8242	H2Oリール	プライム	14:00	
2335		キューブス	プライム	16:00	8303	SBI新生	プライム	11:00	
2371		加カコム	プライム		8304	あおぞら	プライム	16:00	
2413		エムスリー	プライム	15:30	8306	三菱UFJ	プライム	16:00	
2440		ぐるなび	スタンダード	15:00	8354	ふくおか	プライム	15:00	
2676		高千穂交	プライム	15:00	8473	SBI	プライム		
2922		なとり	プライム	15:00	9001	東 武	プライム	15:00	
3024		クエイト	スタンダード	15:30	9010	富士急	プライム	15:00	
3150		グリムス	プライム	16:00	9101	郵 船	プライム	12:00	
3166		OCHI-HD	スタンダード	15:00	9351	東洋埠頭	スタンダード	16:00	
3232		三交GHD	プライム	15:00	9412	スカパ-JSA	プライム	14:00	
3401		帝 人	プライム	11:30	9699	ニオHD	プライム	15:00	
3407		旭化成	プライム	12:30	9706	空港ビル	プライム	16:00	
3433		トーカロ	プライム	15:30	9849	共同紙	スタンダード	15:30	
3566		ユニネク	グロース		9913	日邦産	スタンダード	12:00	
3668		コロブラ	プライム		9928	ミロク情報	プライム	16:00	
3910		エムケイシステム	スタンダード	15:00	1793	大本組	スタンダード	16:00	
4091		日本酸素	プライム	15:00	1803	清水建	プライム	13:00	
4208		UBE	プライム	15:30	1898	世紀東	プライム	16:00	
4409		東邦化	スタンダード	14:00	1909	日本ドライ	スタンダード	16:00	
4475		HENNGE	グロース	15:30	1926	ライトエ	プライム	16:00	
4503		アステラス薬	プライム	15:30	2001	ニッポン	プライム	16:00	
4512		ワカモト	スタンダード	15:00	2288	丸大食	プライム	12:00	
4569		杏林製薬	プライム	14:00	2296	伊藤米久	プライム	12:00	
4626		太陽HD	プライム	12:00	2317	システナ	プライム	16:00	
4689		LINEヤフー	プライム	15:30	2425	ケアサービス	スタンダード	16:00	
4718		早稲アカ	プライム	15:00	2432	DeNA	プライム	15:30	
4847		インテリW	プライム	15:00	2612	かどや	スタンダード	15:00	
5832		ちゅうぎ	プライム	14:00	2681	ゲオHD	プライム	15:00	
5909		コロナ	スタンダード	15:00	2801	キューマン	プライム	15:00	
6099		エラン	プライム	15:30	2802	味の素	プライム	15:30	
6103	オークマ	プライム	15:00	2926	篠崎屋	スタンダード	15:00		
6367	ダイキン	プライム	15:00	3002	グンゼ	プライム	15:00		
6368	オルガノ	プライム	15:00	3034	クオールHD	プライム	15:00		
6420	ガリレイ	プライム	16:00	3059	ヒラキ	スタンダード	16:00		
6674	GSユアサ	プライム	15:00	3110	日東紡	プライム	15:00		
6678	テクニシティ	スタンダード		3167	TOKAI HD	プライム	15:00		
6745	ホーチキ	プライム	15:00	3202	ダイトホウ	スタンダード	14:00		
6752	パナソニックH	プライム		3242	アパネット	スタンダード	16:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
2月5日	3326	ラジシステム	スタンダード	16:00	6248	横田製作	スタンダード	15:00	
	3395	サンマルHD	プライム	15:00	6249	ゲームカード	スタンダード	15:00	
	3417	大木ベルケア	スタンダード	15:00	6370	栗田工	プライム	15:00	
	3577	東海染	スタンダード	14:00	6380	ホリエン	スタンダード	15:00	
	3580	小松マテール	プライム	15:00	6403	水道機	スタンダード	16:00	
	3628	テ-外HR	グロース	16:00	6417	SANKYO	プライム	11:00	
	3632	グリHD	プライム	15:30	6479	ミネベアツミ	プライム	15:00	
	3636	三菱総研	プライム	16:00	6486	イーグル	プライム	15:00	
	3676	テジハHD	プライム	16:00	6590	芝浦メカ	プライム	15:00	
	3690	イルガム	スタンダード	15:00	6645	オムロン	プライム	15:00	
	3712	情報企画	スタンダード		6670	MCJ	スタンダード	15:00	
	3837	アドソル	プライム	15:00	6703	OKI	プライム	13:00	
	3939	かがミックN	プライム	17:00	6723	ルネサス	プライム	09:00	
	4012	アクシス	スタンダード	12:00	6758	ソニーG	プライム		
	4042	東ソー	プライム	13:00	6769	ザイン	スタンダード	15:00	
	4107	伊勢化	スタンダード	15:00	6771	池上通	スタンダード	15:00	
	4114	日触媒	プライム	13:00	6849	日光電	プライム	15:00	
	4183	三井化学	プライム	13:00	6867	リーダー電	スタンダード	16:00	
	4188	三菱ケミG	プライム	13:30	6965	ホニクス	プライム	15:00	
	4202	ダイセル	プライム	13:00	6994	指月電	スタンダード	13:00	
	4326	インテーンHD	プライム	13:00	6998	日タクス	スタンダード	16:00	
	4333	東邦システム	プライム	13:00	7004	カテヒア	プライム	15:00	
	4388	エーアイ	スタンダード	15:00	7071	アンビス	プライム	16:00	
	4414	フレクト	グロース	16:00	7088	フォーラムエン	プライム	15:00	
	4452	花王	プライム	15:30	7089	フォースタ	グロース	15:00	
	4483	JMDC	プライム	15:00	7130	ヤマIGHD	プライム	14:00	
	4491	Cマゼット	スタンダード	15:00	7164	全国保証	プライム	15:00	
	4536	参天薬	プライム	15:00	7186	横浜FG	プライム	15:30	
	4554	富士製薬	プライム		7211	三菱自	プライム	16:00	
	4558	中京医薬	スタンダード	16:00	7240	NOK	プライム	15:00	
	4559	セリア新薬	プライム	16:00	7250	太平洋	プライム	15:00	
	4582	シバハ付	グロース	15:00	7269	スズキ	プライム	14:00	
	4615	神東塗	スタンダード	15:00	7372	テコルテHD	グロース		
	4678	秀英	スタンダード	15:00	7538	大水	スタンダード	15:00	
	4722	フューチャー	プライム	16:00	7606	Uアローズ	プライム	12:00	
	4792	山田コンサル	プライム	12:00	7609	ダイロ	プライム	16:00	
	4800	オリコン	スタンダード	15:00	7619	田中商事	スタンダード	14:00	
	4901	富士フィルム	プライム	14:00	7701	島津製	プライム	15:00	
	4902	ユニカルク	プライム	12:00	7711	助川電	スタンダード	15:00	
	4926	シーボン	スタンダード		7731	ニコン	プライム	15:30	
	4928	ノビアHD	プライム	15:30	7752	リコー	プライム	15:30	
	4968	荒川化学	プライム	15:00	7917	ZACROS	プライム	16:00	
	4975	JCU	プライム	15:00	7955	クリナップ	プライム	16:00	
	5199	不二テ	スタンダード	14:00	7971	東リ	スタンダード	14:00	
	5208	有沢製	プライム	16:00	7980	重松製	スタンダード	15:00	
	5261	リソル	プライム	14:00	7988	ニフコ	プライム		
	5285	ヤマックス	スタンダード	14:00	8012	長瀬産	プライム	13:00	
5351	品川ワラ	プライム	15:00	8020	兼松	プライム	15:00		
5391	A&AM	スタンダード	15:00	8045	横丸魚	スタンダード	15:00		
5401	日本製鉄	プライム	15:00	8058	三菱商	プライム	14:00		
5408	中山鋼	プライム	15:00	8107	キムラカ	スタンダード			
5411	JFE	プライム	14:00	8111	Gウイン	プライム	15:00		
5446	北越メタル	スタンダード	15:00	8158	ソーダニカ	プライム	14:00		
5449	大阪製鉄	スタンダード		8338	筑波銀行	プライム	15:00		
5480	冶金工	プライム	15:00	8365	富山銀	スタンダード	14:00		
5632	菱製鋼	プライム	15:00	8425	ミスホース	プライム	15:30		
5729	日精鋳	スタンダード	13:00	8584	ジャックス	プライム	16:00		
6062	チャームケア	プライム		8772	アサックス	スタンダード	15:00		
6088	シグマックスH	プライム	16:00	8934	サンロテイア	プライム	15:00		
6158	和井田	スタンダード	13:00	9003	相鉄HD	プライム	14:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	
2月5日	9081	神奈交	プライム	15:00	2月5日	2730	エディオン	プライム	11:00	
	9090	AZ-COM丸	プライム	15:00		2790	ナフコ	スタンダード	15:00	
	9119	飯野海	プライム	14:00		2814	佐藤食	スタンダード	16:00	
	9127	玉井船	スタンダード	15:00		2815	アリアケ	プライム	10:00	
	9130	共栄タ	スタンダード	16:00		2819	エフ食品	スタンダード	15:00	
	9305	ヤマタネ	プライム	13:00		2894	石井食	スタンダード		
	9312	ケイヒン	スタンダード	15:00		3028	アルペン	プライム	15:00	
	9401	TBSHD	プライム	16:00		3099	ミツコイセキ	プライム	13:00	
	9404	日テレHD	プライム	16:00		3103	ユニチカ	プライム	11:00	
	9424	日本通信	プライム			3107	ダイワHD	プライム	15:00	
	9432	NTT	プライム	13:00		3111	オミケン	スタンダード		
	9639	三協フロン	スタンダード	15:00		3176	三洋貿易	プライム	14:00	
	9684	スクエHD	プライム			3179	シュビン	プライム	15:00	
	9831	ヤマダHD	プライム	11:00		3221	ヨシックスHD	プライム	15:00	
	9853	ルナール	スタンダード	15:00		3271	グローバル社	スタンダード	15:00	
	9888	UEX	スタンダード	14:00		3289	東急不HD	プライム	15:00	
	2月6日	1301	極洋	プライム		11:00	3315	日本ユークス	プライム	14:00
		1332	ニッスイ	プライム		12:00	3360	シッパHD	プライム	
1382		ホープ	スタンダード		3375	ZOA	スタンダード	15:00		
1420		サンヨーH	スタンダード	15:00	3420	ケーエフシー	スタンダード	13:00		
1450		TANAKEN	スタンダード	15:00	3422	J-MAX	スタンダード	16:00		
1515		日鉄鉱	プライム	15:00	3461	バルマ	スタンダード			
151A		ダイブ	グロース	15:30	3537	昭栄薬品	スタンダード	15:00		
1717		明豊ファシリ	スタンダード	16:00	3553	共和レザ	スタンダード	15:00		
1720		東急建設	プライム	16:00	3583	オーベクス	スタンダード	16:00		
1721		コムシスHD	プライム	15:00	3634	ソケッツ	スタンダード			
1768		ソネック	スタンダード	16:00	368A	北里コーポ	プライム			
1801		大成建	プライム	13:00	3766	システムSD	スタンダード	13:00		
1813		不動トラ	プライム	15:00	3774	IIJ	プライム	12:00		
1814		大末建	プライム	15:00	3776	プロパティ	スタンダード	12:00		
1826		佐田建	スタンダード	15:00	3842	ネクストジェン	スタンダード	16:00		
1867		植木組	スタンダード	15:00	3844	コムチュア	プライム	15:00		
1871		ピーエス	プライム	15:00	3861	王子HD	プライム	13:00		
1882		東亜道	プライム	14:00	3863	日本紙	プライム	15:00		
1885		東亜建	プライム	16:00	3895	ハビックス	スタンダード	15:00		
1897		金下建	スタンダード	11:00	3926	オープンア	プライム	15:00		
1905		テルクス	スタンダード	15:00	3943	大石産業	スタンダード	14:00		
1945		東京エネクス	プライム	16:00	3945	スパバックス	スタンダード	16:00		
1951		エグシオG	プライム	15:00	3998	すららNT	グロース	15:00		
1965		テカ菱和	スタンダード	14:00	4027	テイカ	プライム	16:00		
1966		高田工	スタンダード	15:00	4061	デンカ	プライム	11:00		
1968		太平電	プライム	15:00	4084	カーバイト	プライム	16:00		
1980		ダイダン	プライム	13:00	4102	丸尾カル	スタンダード	15:00		
2004		昭和産	プライム	15:00	4120	スカイ化	スタンダード	15:00		
2112		塩水糖	スタンダード	16:00	4169	エネチエンジ	グロース	12:00		
2139		中広	スタンダード	16:00	416A	富士ユナイテ	スタンダード	16:00		
2148		ITM	プライム	15:00	4189	KHネオケム	プライム	14:00		
2154		オープンUP	プライム	15:00	4224	ロシルエ	スタンダード	14:00		
2179		成学社	スタンダード	15:00	4320	CEHD	スタンダード	15:00		
2193		COOK	スタンダード	18:00	4335	IPSHD	スタンダード			
2204		中村屋	スタンダード	15:00	4341	西菱電機	スタンダード	15:00		
2349		エヌアティ	スタンダード	15:00	4350	ダイカルシス	スタンダード	15:00		
2376		サイネックス	スタンダード	15:00	4351	山田債権	スタンダード	16:00		
2395		新日科学	プライム	11:00	4368	扶桑化学	プライム	16:00		
2475	WDB	プライム	16:00	4390	ips	プライム	15:00			
2480	シスロケ	スタンダード	15:00	4521	科研薬	プライム	15:30			
2573	北海コカ	スタンダード	16:00	4534	持田薬	プライム	14:00			
2613	Jオイル	プライム	15:00	4540	ツムラ	プライム	11:00			
2702	マクサルド	スタンダード	15:00	4548	生化学	プライム	16:00			
2705	大戸屋HD	スタンダード	15:00	4588	オコリス	グロース	15:00			

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
2月6日	4624	伊ム塗	スタンダード	13:00	6445	ジャノメ	プライム	15:00	
	4665	ダスキン	プライム	15:00	6448	ブラザー	プライム	15:30	
	4674	クレスコ	プライム	16:00	6457	グローリー	プライム	15:00	
	4686	ジャストシステム	プライム	16:00	6492	岡野バル	スタンダード	15:00	
	4694	BML	プライム	14:00	6507	シノエア	プライム	13:00	
	4751	サイエージ	プライム	15:30	6647	森尾電	スタンダード	14:00	
	4769	I C	スタンダード	15:00	6652	IDEC	プライム	15:00	
	4783	NCD	スタンダード	15:00	6662	ユビテック	スタンダード	16:00	
	4809	バラカ	プライム		6730	アクセル	スタンダード	15:00	
	4828	ビーエージ	プライム	12:00	6743	大同信	スタンダード	16:00	
	4917	マンダム	プライム	11:00	6768	タムラ製	プライム	13:00	
	4958	長谷川香	プライム	16:00	6787	メイコー	プライム	15:30	
	4970	東洋合成	スタンダード		6803	ティアック	スタンダード	12:00	
	5013	ユシロ	スタンダード	15:30	6804	ホシデン	プライム	16:00	
	5186	ニッタ	プライム	15:00	6817	スミダコーポ	プライム		
	5201	AGC	プライム	13:00	6836	フラットホーム	スタンダード	16:00	
	5202	板硝子	プライム	13:00	6845	アズビル	プライム	15:00	
	5214	日電硝	プライム	15:00	6855	電子材料	スタンダード	16:00	
	5237	ノザワ	スタンダード	11:00	6875	カチップス	プライム	15:00	
	5268	旭コクリ	スタンダード	11:00	6894	ハルステック	スタンダード		
	5282	シオスター	スタンダード	15:00	6907	シオマテック	スタンダード	16:00	
	5283	高見澤	スタンダード	15:00	6919	ケル	スタンダード	13:00	
	5284	ヤマウHD	スタンダード	16:00	6925	ウソ電	プライム	16:00	
	5287	トヨーキョ	スタンダード	15:00	6927	ペリオステク/H	スタンダード	16:00	
	5357	ヨーダイ	プライム	16:00	6928	エフエト	スタンダード	13:00	
	5406	神戸鋼	プライム	13:00	6929	日セミ	プライム	15:00	
	5451	ヨドコウ	プライム	16:00	6958	日本CMK	プライム	15:00	
	5541	大平金	プライム	15:00	6964	サンコー	スタンダード	16:00	
	5602	栗本鉄	プライム	13:00	6976	太陽誘電	プライム	15:30	
	5607	中可鍛	名証メイン		6996	ニチコン	プライム	15:00	
	5660	神鋼線	スタンダード		7079	WDBコ	グロース	16:00	
	5727	邦子ケム	プライム		7134	アツカレー	スタンダード	15:00	
	5742	NIC	スタンダード		7167	めぶきFG	プライム	15:00	
	5902	ホッカHD	プライム	16:00	7184	富山第一	プライム	15:00	
	5903	SHINPO	スタンダード	15:00	7192	モーゲージS	スタンダード	14:00	
	5930	文化シヤタ	プライム	14:00	7203	トヨタ	プライム		
	5940	不二サッシ	スタンダード	14:00	7220	武蔵精密	プライム	15:00	
	5941	中西製作	スタンダード	12:00	7231	トピー	プライム	13:00	
	5958	三洋工	スタンダード	14:00	7266	今仙電機	スタンダード		
	5976	ネツレン	プライム	15:00	7270	SUBARU	プライム	13:00	
	6073	アサンテ	プライム	12:00	7287	日精機	スタンダード	15:00	
	6138	ダイソ	スタンダード	15:00	7297	カーメイト	スタンダード	15:00	
6155	高松機械	スタンダード	15:00	7322	33FG	プライム	15:00		
6181	タメニー	グロース	15:00	7399	ナンシン	スタンダード	16:00		
6228	ジェイティ	スタンダード	15:00	7417	南陽	スタンダード	15:00		
6246	テラスマート	スタンダード	16:00	7421	カハ・カエ	プライム	15:00		
6257	藤商事	スタンダード	15:00	7472	鳥羽洋行	スタンダード	15:00		
6277	ホリカワミカ	プライム	15:00	7486	サンリン	スタンダード	15:00		
6307	サンセイ	スタンダード	15:00	7509	アイエーG	スタンダード	15:00		
6315	TOWA	プライム	15:30	7702	JMS	スタンダード	15:00		
6327	北川精機	スタンダード	15:00	7709	クボテック	スタンダード	15:00		
6332	月島HD	プライム	14:00	7721	東京計器	プライム	16:00		
6339	新東工	プライム		7729	東京精	プライム	15:30		
6360	東自機	スタンダード	15:00	7740	弘明	プライム	15:00		
6366	千代建	スタンダード	15:00	7745	A&DホロンHD	プライム	15:00		
6371	橋本チ	プライム	15:00	7792	コンソテ	グロース	15:00		
6378	木村化	スタンダード	16:00	7826	フルヤ金属	プライム	15:00		
6402	兼松エンジ	スタンダード	15:00	7840	アヘッドH	プライム	16:00		
6406	フジテック	プライム	17:00	7857	セキ	スタンダード	15:00		
6418	金銭機	プライム	15:00	7885	タカノ	スタンダード	15:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
2月6日	7914	共同印	プライム	15:00		9896	JKHD	スタンダード	11:00
	7937	ツツミ	スタンダード	14:00		9908	日電計	スタンダード	13:00
	7987	ナカハヤシ	スタンダード	15:00					
	7994	オカムラ	プライム	15:00					
	8001	伊藤忠	プライム	13:00					
	8018	三共興	スタンダード	15:00					
	8035	東エレ	プライム	16:00					
	8075	神鋼商	プライム	12:00					
	8078	阪和興	プライム	13:00					
	8091	ニチモウ	プライム	16:00					
	8104	クワガワHD	スタンダード	15:00					
	8119	三栄ホ	スタンダード	15:00					
	8138	三京化	スタンダード	14:00					
	8214	AOKI HD	プライム	15:00					
	8282	ケースHD	プライム						
	8283	PALTAC	プライム	15:00					
	8359	八十二長	プライム	15:00					
	8410	セブ銀行	プライム	15:00					
	8418	山口FG	プライム	15:00					
	8424	芙蓉リス	プライム	14:00					
	8439	東セシユリ	プライム	15:30					
	8522	名 銀	プライム						
	8562	福島銀	スタンダード	15:00					
	8563	大東銀	スタンダード	15:00					
	8566	リユース	プライム	14:00					
	8596	九州リス	スタンダード						
	8715	アコムHD	プライム	15:00					
	8742	小林洋行	スタンダード	15:00					
	8747	豊トスティ	スタンダード	15:00					
	8801	三井不	プライム	15:00					
	8830	住友不	プライム	15:00					
	8881	日神GHD	プライム	15:00					
	8919	カチタス	プライム	15:00					
	8929	青山財産	スタンダード	15:00					
	8935	FJネクストHD	プライム	14:00					
	9034	南総通運	スタンダード	15:00					
	9045	京阪HD	プライム	14:00					
	9049	京福電	スタンダード						
	9059	カンダ	スタンダード	15:00					
	9063	岡山運	スタンダード	15:00					
	9074	日石輸	スタンダード	14:00					
	9083	神姫バス	スタンダード	15:00					
	9143	SGHD	プライム	15:30					
	9171	栗林船	スタンダード	14:00					
	9204	スカイマーク	グロース	15:00					
	9302	三井倉HD	プライム	16:00					
	9355	リンコー	スタンダード	16:00					
	9433	KDDI	プライム	15:00					
	9519	レノバ	プライム	15:30					
	9682	DTS	プライム	15:00					
	9757	船総研HD	プライム	12:00					
	9763	丸建リス	スタンダード						
	9776	札 臨	スタンダード	15:00					
	9780	ビステム	スタンダード	11:00					
	9788	ナック	プライム	15:00					
	9816	ストライダース	スタンダード	15:00					
	9820	MTシネック	スタンダード	15:00					
	9857	英 和	スタンダード	15:00					
	9867	ソレキア	スタンダード	15:00					
	9869	加藤産業	プライム	15:00					

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)	
1月26日	JPモルガン	285A	キオクシアHD	OVERWEIGHT新規	25000	
		シティ	4373	シンプレクスHD	1新規	1240
			4733	OBC	1新規	9900
	モルガン	4578	大塚HD	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	9000→12600	
1月27日	UBS	4507	塩野義薬	BUY新規	3600	
		4519	中外薬	BUY新規	10500	
		4528	小野薬	BUY新規	2950	
		4536	参天薬	BUY新規	2050	
	ゴールドマン	7182	ゆうちょ銀行	中立→買い格上げ	1890→2800	
	みずほ	7972	イトーキ	買い新規	3350	
	岡三	9532	大瓦斯	強気新規	6700	
	野村	7453	良品計画	NEUTRAL→BUY格上げ	3400→3800	
1月28日	みずほ	6544	JESHD	買い新規	2400	
	野村	5838	楽天銀行	NEUTRAL→BUY格上げ	8000→8700	
1月30日	JPモルガン	5019	出光興産	OVERWEIGHT新規	1750	
		5020	ENEOS	OVERWEIGHT新規	1800	
		5021	コスモエネHD	OVERWEIGHT新規	5700	

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

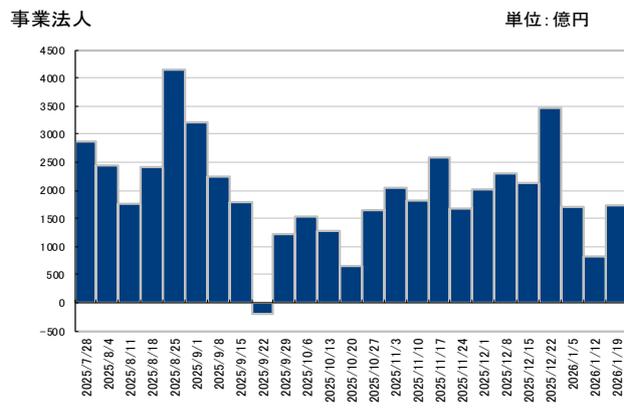
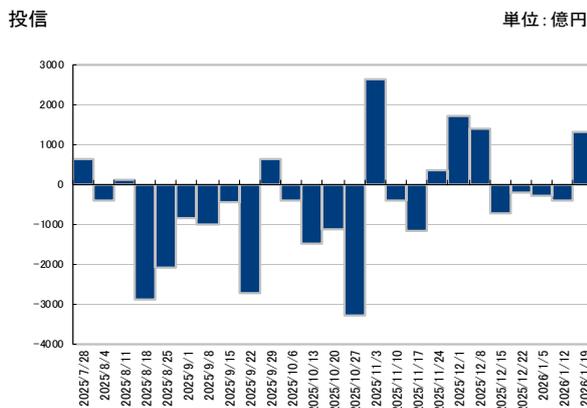
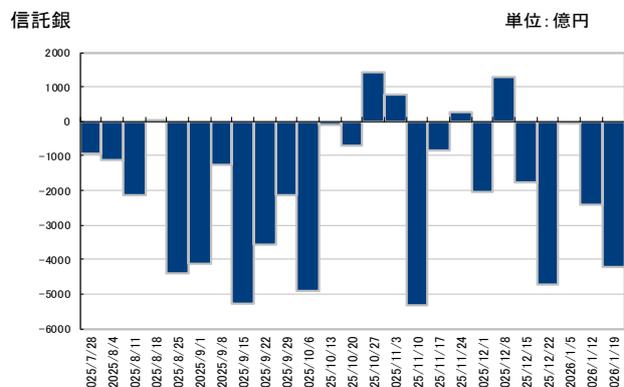
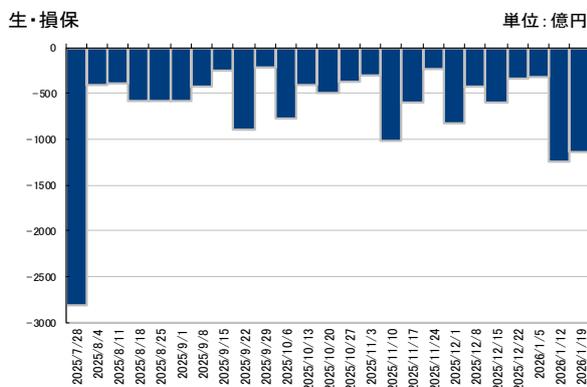
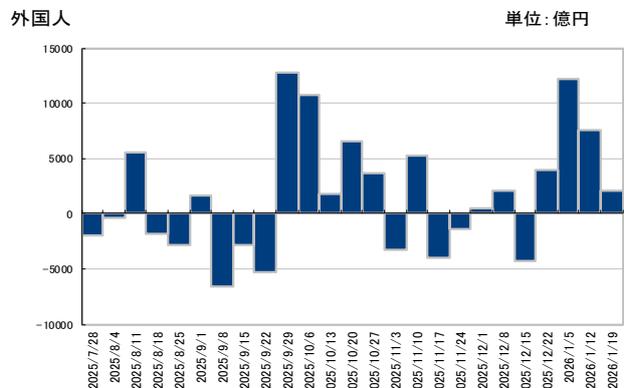
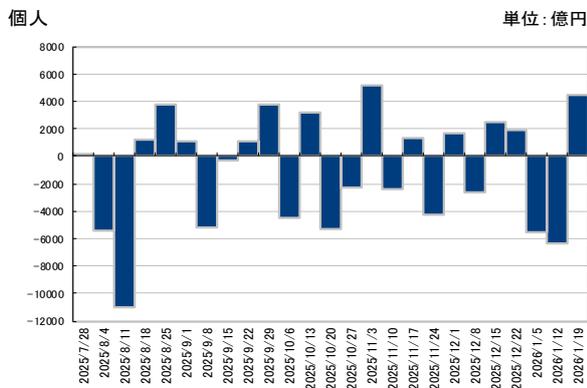
日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
1月26日	UBS	6702	富士通	BUY→NEUTRAL格下げ	4550→4500
	モルガン	5423	東製鉄	EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ	1500→1300
1月27日	ゴールドマン	3769	GMOPG	買い→中立格下げ	11000→10000
1月28日	モルガン	6526	ソシオネクスト	EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ	2600→2000
1月29日	UBS	3231	野村不HD	BUY→NEUTRAL格下げ	984→1124
1月30日	JPモルガン	2502	アサヒ	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	2300→1700
	大和	4626	太陽HD	2→3格下げ	2300→5000

1月第3週:外国人投資家は総合で4443億円と売り越しに転じる

1月第3週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で4443億円と売り越しに転じた。現物は買い越しを継続し、TOPIX先物は売り越しに転じ、225先物は売り越しを継続した。個人投資家は総合で4506億円の買い越しに転じた。

そのほか、投信は1741億円と買い越しに転じ、都地銀は512億円と売り越しを継続した。生・損保は1183億円と売り越しを継続、事法は1570億円と買い越しを継続し、信託は2232億円と売り越しを継続した。

なお、自己は現物で売り越しに転じ、TOPIX先物では買い越しに転じ、225先物は買い越しを継続した。総合は250億円と買い越しを継続した。1月23日時点の裁定残高は、ネットベースで2兆5449億5000万円の買い越しで、前週(2兆5640億1300万円の買い越し)から減少した。一方、株数ベースでは、9億7401万6千株の買い越しで、16日(9億7940万2千株の買い越し)から減少している。週間の騰落率は日経平均で0.17%の下落だった。



単位:億円

現物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/10/06	▲692	▲4,467	10,716	▲422	1,528	▲780	▲603	▲4,901
25/10/13	▲3,561	3,158	1,833	▲1,482	1,271	▲418	▲723	▲108	
25/10/20	704	▲5,307	6,502	▲1,136	655	▲491	▲84	▲727	
25/10/27	▲807	▲2,239	3,717	▲3,288	1,657	▲374	▲183	1,415	
25/11/03	▲7,457	5,195	▲3,214	2,638	2,033	▲301	▲196	762	
25/11/10	3,067	▲2,456	5,219	▲418	1,808	▲1,024	▲862	▲5,337	
25/11/17	3,192	1,315	▲4,032	▲1,197	2,582	▲593	▲357	▲855	
25/11/24	3,661	▲4,270	▲1,388	338	1,686	▲239	▲209	251	
25/12/01	▲3,434	1,635	489	1,686	2,009	▲824	▲630	▲2,040	
25/12/08	▲4,777	▲2,689	2,021	1,376	2,286	▲426	84	1,298	
25/12/15	2,505	2,520	▲4,322	▲750	2,140	▲595	▲301	▲1,775	
25/12/22	▲3,627	1,890	3,932	▲237	3,467	▲331	▲175	▲4,715	
26/01/05	▲6,878	▲5,515	12,128	▲303	1,689	▲323	▲300	▲44	
26/01/12	3,709	▲6,402	7,505	▲440	835	▲1,253	▲502	▲2,422	
26/01/19	▲3,965	4,462	2,128	1,305	1,743	▲1,146	▲489	▲4,226	

単位:億円

TOPIX先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/10/06	800	▲40	▲1,000	▲112	12	93	129	▲210
25/10/13	1,460	▲169	0	▲22	23	▲240	▲719	▲147	
25/10/20	38	▲51	▲312	203	3	166	444	▲468	
25/10/27	2,070	320	▲3,300	▲398	▲11	▲113	925	670	
25/11/03	4,760	▲306	▲3,000	▲186	▲15	▲78	▲644	▲485	
25/11/10	▲3,270	▲48	▲700	147	19	31	538	3,189	
25/11/17	▲6,912	▲67	10,679	82	▲11	▲7	▲795	▲2,774	
25/11/24	▲2,544	38	2,694	135	▲16	103	186	▲638	
25/12/01	3,132	168	994	124	5	▲60	138	▲4,447	
25/12/08	654	▲60	3,162	▲618	4	18	▲66	▲3,087	
25/12/15	▲1,519	▲26	1,939	31	17	8	196	▲368	
25/12/22	931	▲28	2,922	▲605	▲10	43	58	▲3,306	
26/01/05	4,749	▲146	▲3,227	▲1,365	55	133	▲109	▲87	
26/01/12	▲1,907	▲53	2,702	154	▲19	▲92	31	▲814	
26/01/19	3,001	▲77	▲4,014	169	▲6	▲41	166	617	

単位:億円

日経平均先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/10/06	▲600	▲100	0	▲330	▲0	▲356	1,340	▲380
25/10/13	1,810	▲200	▲3,200	235	57	▲101	▲859	2,430	
25/10/20	▲1,657	172	297	267	▲18	278	542	182	
25/10/27	70	700	▲2,000	224	▲99	199	930	570	
25/11/03	▲1,900	0	3,000	▲270	▲175	602	▲560	▲280	
25/11/10	290	▲460	100	210	19	53	▲180	▲340	
25/11/17	▲1,739	91	654	195	318	▲253	▲366	1,092	
25/11/24	▲714	189	▲561	▲7	▲3	▲20	534	797	
25/12/01	▲742	▲44	2,411	245	▲22	▲428	314	▲1,521	
25/12/08	▲896	▲190	124	694	▲3	▲132	557	8	
25/12/15	▲531	345	▲1,468	680	15	10	▲309	991	
25/12/22	457	▲181	▲746	41	▲2	26	163	177	
26/01/05	2,155	▲494	▲1,003	▲142	▲50	▲4	38	▲294	
26/01/12	538	75	▲1,161	▲485	13	195	68	645	
26/01/19	1,214	121	▲2,557	267	▲167	4	▲189	1,377	

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	1/30終値 (円)
TOボックス	500A	スタンダード	2/13	3,810~3,910	486,700	421,800	-	-	SMBC日興	-
事業内容:	ライトノベル及びコミックを中心とした企画・編集及びアニメ、舞台、グッズ展開を担うコンテンツプロデュース事業									
イノバセル	504A	グロース	2/24	2/4	8,400,000	725,300	-	-	野村	-
事業内容:	便失禁、尿失禁疾患などを対象とした再生医療等製品の開発、製造及び販売									
ギークリー	505A	スタンダード	2/27	2/9	0	3,210,000	-	-	野村	-
事業内容:	IT・Web・ゲーム業界に特化した人材紹介事業									

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リート<のリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	Tel:082-245-5000	三 次 支 店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	Tel:0824-62-3121
福 山 支 店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	Tel:084-922-1321	可 部 支 店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	Tel:082-815-2600
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	Tel:086-222-1561	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	Tel:082-277-2700
府 中 支 店	〒726-0004 府中市府川町335-1	Tel:0847-45-8500	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	Tel:082-422-3621
尾 道 支 店	〒722-0035 尾道市土堂2-7-11	Tel:0848-23-8121	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	Tel:0829-31-6611
尾 道 支 店 今 治 営 業 所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	Tel:0898-55-8280	岩 国 支 店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	Tel:0827-22-3161
尾 道 支 店 因 島 営 業 所	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	Tel:0845-22-2291	徳 山 支 店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	Tel:0834-31-5350
三 原 支 店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	Tel:0848-67-6681	徳 山 支 店 萩 営 業 所	〒758-0027 萩市吉田町51-11	Tel:0838-25-2121
呉 支 店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	Tel:0823-21-6401	宇 部 支 店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル	Tel:0836-31-1105

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>